

消 防 年 報

令和7年版



鳥取県西部広域行政管理組合

消 防 局

(令和8年刊行)

は　じ　め　に

この消防年報は、鳥取県西部広域行政圏の消防現勢並びに、令和7年における消防行政の執行状況を広く一般に紹介し、今後の消防行政の運営に資するため編集したものです。なお、予算については会計年度を用い、その他の表についてはそれぞれに記載する年月日で表したものです。また、本文中の各割合(%)については、端数処理のため合計が100%にならない場合があります。

令和8年7月

鳥取県西部広域行政管理組合消防局

目 次

鳥取県西部広域行政管理組合管内の概況	1
組合管内全図	2
管内常備消防の沿革	3
歴代の管理者・議長	16
歴代の消防長	17
鳥取県西部広域行政管理組合消防局組織図	18
消防機関の出動状況等	19
相互応援協定	20
事務分掌	21
消防職員	
(1) 職員配置状況	24
(2) 職員在職年数	26
(3) 職員年齢構成	27
(4) 職員研修	28
(5) 職員採用試験	30
消防予算の状況	
(1) 令和8年度当初予算額の対前年度比較	31
(2) 令和8年度当初予算額の財源内訳	32
(3) 令和7年度決算額	32
消防施設等の状況	
(1) 消防庁舎及び無線中断所の位置・構造	33
(2) 消防吏員待機宿舎概要	33
(3) 消防車両等配置数	34
(4) 消防車両概況	35
(5) 救急・救助	
(5-1) 救急隊配置場所	37
(5-2) 高規格救急車積載一覧	38
(5-3) 救助隊配置場所	39
(5-4) 高度救助用資機材一覧	39
(5-5) 救助工作車(Ⅲ型)積載一覧	40
(6) 通信施設	41
予防	
(1) 防火対象物の現況	43
(2) 各種届出事務処理の状況	44
(3) 防火対象物の用途別査察状況	44
(4) 建築同意の用途別事務処理状況	45
(5) 危険物製造所等の地区別施設件数	46
(6) 危険物製造所等の事務処理件数	46
(7) 危険物施設査察状況	47
(8) 火薬類取締法関係	47
(9) 液化石油ガス法関係	47

災害概況

I 火災概況

1 火災件数と死傷者数	48
2 出火状況	49
3 市町村別火災状況	50
4 出火原因	51

II 救急概況

1 救急出動件数、救急搬送状況	52
2 市町村別救急活動状況	53
3 傷病程度別搬送状況	54
4 年齢別搬送状況	54
5 署所別救急活動状況	55
6 月別救急活動状況	55
7 現場到着所要時間、収容所要時間	56
8 市町村別救急活動の推移	57

III 救助概況

1 事故種別救助出動状況	58
2 事故種別救助活動状況	58
3 事故種別救助人員状況	59
4 管轄別救助活動状況	59
5 市町村別救助活動状況	60
6 月別救助活動状況	60

IV 119番通報着信概況

1 119番通報着信件数の内訳	61
2 月別119番通報着信状況	61
3 電話種別による119番通報の着信状況	62
4 119番通報の転送状況	63
5 時間帯別119番通報の着信状況	63

消防団・水利

消防団の人員と装備	64
水利状況	65

関係団体

〔米子地区防火安全協会〕	66
〔境港市消防保安協会〕	69

鳥取県西部広域行政管理組合管内の概況

位置と地勢

当組合は、鳥取県の西部に位置し、中海を抱く米子市・境港市を中心として西伯郡・日野郡の2市2郡(9市町村)で構成されている。

米子市は、この地域における行政・交通・教育・文化など多面的な中枢機能をもつ山陰有数の商業都市であり、それと隣接する境港市は、日本海に面する重要港湾境港により海外貿易の門戸として、また沖合漁業の基地として知られ、弓浜半島の先端部に位置している。

米子市の南部、法勝寺川の流域平野部に南部町(西伯郡)があり、西域は島根県境と接しており、また名峰「大山」を臨む東部日本海沿岸部には日吉津村・大山町(西伯郡)があり、平坦部には肥沃な農地が拓け、沿岸漁業も盛んである。

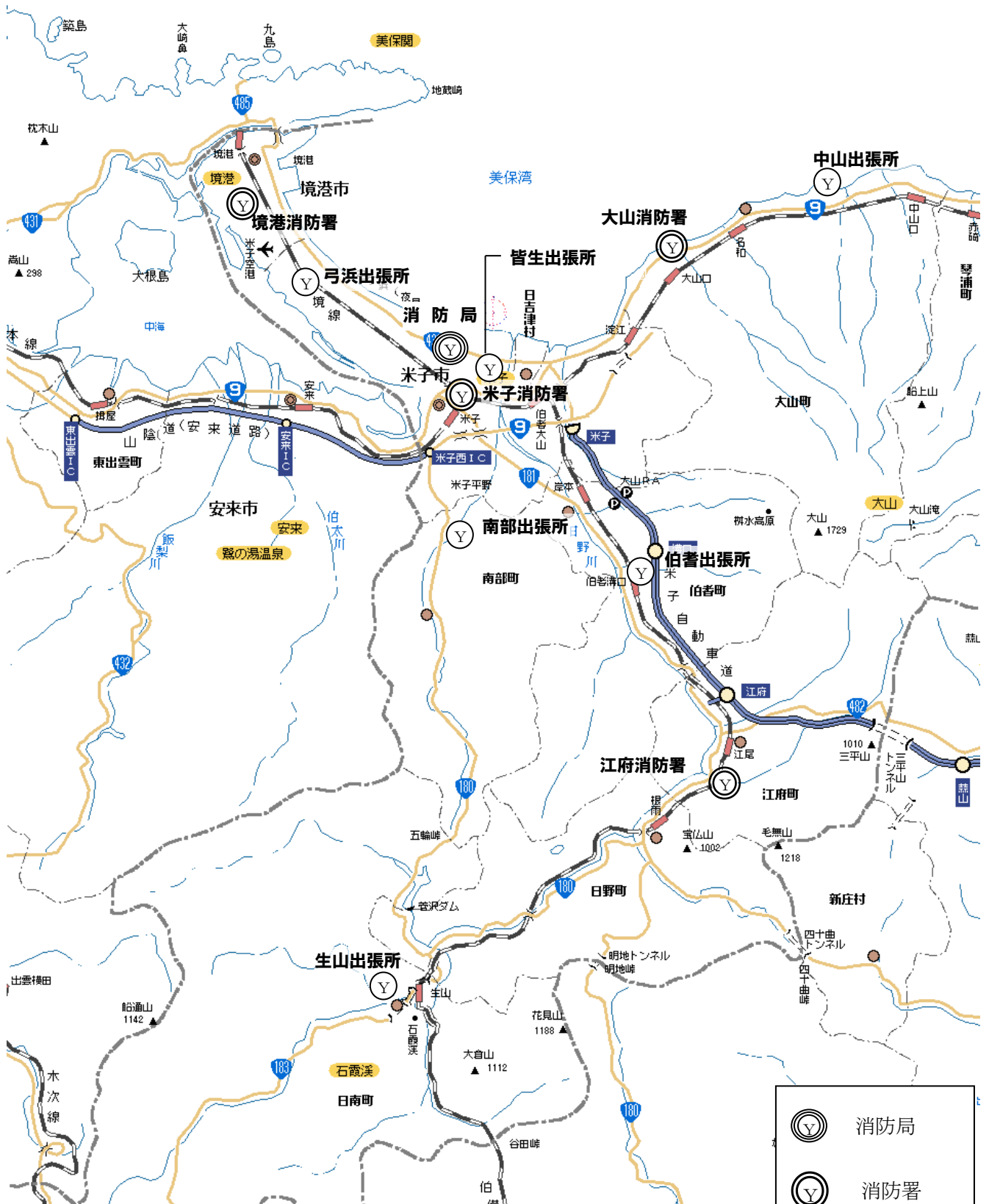
一級河川日野川の流域、遠く岡山・広島県境に至る中国山地に日南・日野・江府の各町(日野郡)が位置し、日野路への進入路には米子市と隣接して伯耆町(西伯郡)がある。

令和8年4月1日現在

構成市町村	人口(人)	世帯数(世帯)	面積(km ²)
米子市	142,452	63,244	132
境港市	30,758	13,223	29
日吉津村	3,451	1,292	4
大山町	13,758	5,061	190
南部町	9,443	3,547	114
伯耆町	9,727	3,566	139
日南町	3,486	1,575	341
日野町	2,468	1,088	134
江府町	2,316	884	125
合 計	217,859	93,480	1,208

(鳥取県市町村別推計人口による)

組合管内全図



-  消防局
-  消防署
-  出張所

管内常備消防の沿革

1 米子市の消防

明治 26 年 3 月	米子町消防条例を制定し、定員21名、消防ポンプ2台(機種不明)をもって消防組を編成
昭和 2 年 4 月	市制実施
昭和 6 年 4 月	消防ポンプ自動車1台購入配置、森田式タービンポンプ4気筒A型フォード製
昭和 9 年	米子市公設消防組設置、消防ポンプ自動車1台、消防夫20名の常備制をとり、詰所を市役所内に配置
昭和 14 年 4 月	警防団令の施行によって、米子市警防団を結成し、消防組は警防団の消防部として配置
昭和 18 年 4 月	消防部の詰所を富士見町2丁目126番地に移転
昭和 22 年 4 月	消防団令が公布されて、警防団は解散し、新しく米子市消防団が結成されたが、消防部は市の常備消防部として配置
昭和 23 年 9 月	消防組織法の施行により米子市消防本部及び米子市消防署が設置され、消防職員24名、消防ポンプ自動車3台で業務開始、初代吉村泰之消防長就任(収入役兼務)
昭和 24 年 7 月	小型消防ポンプ自動車1台購入配置
昭和 24 年 9 月	小型消防ポンプ自動車1台購入配置
昭和 25 年 10 月	消防ポンプ自動車1台購入配置
昭和 26 年 4 月	消防職員43名となる。(内2人は本庁兼務)
昭和 28 年 4 月	消防職員46名となる。(〃)
昭和 30 年 11 月	消防庁舎を増改築した。木造瓦葺2階建延面積464. 477㎡、消防職員定数54名
昭和 30 年 11 月	消防ポンプ自動車1台を購入配置
昭和 31 年 5 月	第2代船越照郷消防長就任
昭和 31 年 7 月	消防本部係制実施(庶務、予防第一、予防第二、消防、機械の5係)
昭和 32 年 11 月	消防ポンプ自動車1台購入配置
昭和 33 年 4 月	指揮車(ジープ型)1台購入配置
昭和 34 年 4 月	日本損害保険協会から消防ポンプ自動車1台の寄贈を受け配置(損保号)
昭和 37 年 11 月	消防ポンプ自動車1台を購入配置(2号車)
昭和 38 年 7 月	第3代戸田勇消防長就任
昭和 40 年 4 月	第4代吉村純一郎消防長就任
昭和 40 年 9 月	第5代松田宏消防長就任
昭和 40 年 9 月	広報車1台購入配置(日本消防協会配車)
昭和 41 年 9 月	消防ポンプ自動車1台購入配置(1号車)
昭和 42 年 6 月	消防本部に課制実施(警防課、総務課)
昭和 42 年 7 月	消防職員定員65名
昭和 42 年 12 月	救急自動車1台、化学車1台購入配置
昭和 42 年 12 月	富士見地区区画整理事業実施により富士見町1丁目103番地1に新庁舎を新築移転(鉄筋コンクリート造3階建延総面積13,207㎡)

昭和 43 年 2 月	救急業務開始
昭和 43 年 3 月	水そう付消防ポンプ自動車1台購入配置(速消車)
昭和 43 年 11 月	消防ポンプ自動車1台購入配置(6号車)
昭和 44 年 3 月	屈折梯子付消防ポンプ自動車購入配置(スノーケル車)
昭和 44 年 4 月	第6代植田実消防長就任
昭和 45 年 3 月	消防ポンプ自動車1台購入配置(5号車)
昭和 45 年 11 月	日本損害保険協会から水そう付消防ポンプ自動車1台の寄贈を受けた。(火災保険号)
昭和 47 年 4 月	消防職員の定数70名
昭和 47 年 5 月	指揮車を購入し更新配置した。(指揮1号)
昭和 48 年 4 月	消防職員の定数72名
昭和 48 年 12 月	救急自動車1台を購入配置(救急2号)
昭和 49 年 1 月	小型トラック1台を購入配置(作業車)
昭和 49 年 6 月	広報車1台購入配置(広報2号)
昭和 50 年 3 月	消防ポンプ自動車1台購入配置
昭和 50 年 4 月	西伯郡7町村(西伯、岸本、会見、淀江、大山、名和町及び日吉津村)から救急業務を受託して業務開始、消防職員定数77名
昭和 50 年 7 月	東京海上火災保険株式会社から広報車1台の寄贈を受け配置(広報1号)
昭和 50 年 8 月	鳥取県共済農業協同組合から救急自動車1台の寄贈を受け配置(救急3号)
昭和 50 年 9 月	日本消防協会から救急自動車1台の寄贈を受け配置(救急1号)
昭和 51 年 1 月	第7代名和義則消防長就任
昭和 51 年 4 月	皆生1661番地に皆生出張所を開設し、分遣隊による業務開始。鉄筋コンクリート造平屋建延面積391. 957㎡、消防職員定数79名

2 境港市の消防

昭和 31 年 5 月	境港市消防本部設置(市制施行に伴う) 西村清美団長 団員定数150名(6ヶ分団) 消防ポンプ自動車 6台
昭和 31 年 5 月	境港市消防団常備部開設 常備部長 西村清美団長 中嶋登美夫主任 常備部定員14名 消防ポンプ自動車A2級1台(S28. 2購入) 消防専用中短波無線電話 基地局1、移動局2 庁 舎 木造瓦葺2階建(延106. 38㎡) (第1分団(境)の消防車庫を改築し、待機室、仮眠室増設) 所在地、境港市上道町1, 703番地
昭和 31 年 10 月	常備部定員18名となり、4名増員
昭和 33 年 9 月	全市内に上水道消火栓が敷設される。初年度92ヶ所
昭和 34 年 7 月	境港市消防本部・消防署設置 林 義人消防長(署長兼務) 署員定数19名

昭和 36 年 5 月	消防庁舎新築(延353. 17㎡) 所在地 境港市上道町1, 600番地
昭和 36 年 11 月	消防署員10名増員 署員定数 29名
昭和 37 年 7 月	消防ポンプ自動車(A2級)1台配置(損害保険協会より寄贈を受ける)
昭和 39 年 4 月	救急業務開始。救急車(ジープ型)1台配置(日赤鳥取支部より貸与)
昭和 40 年 3 月	救急車(セドリック)更新(日赤貸与)
昭和 42 年 10 月	第2代梶野利雄消防長 (市総務課長兼務)
昭和 42 年 12 月	第3代景山善次郎消防長 (市収入役兼務) 化学消防ポンプ自動車(1型)1台配置 境港市消防保安協会より購入費一部(100万円)採納、購入額4, 345千円
昭和 43 年 3 月	消防専用超短波無線電話設置(中短波を更新)5基(固定局1、基地局4)
昭和 43 年 4 月	消防署組織改編。庶務、警防、予防3係設置
昭和 43 年 9 月	第4代中嶋登美夫消防長 (専任、署長兼務)
昭和 44 年 12 月	消防ポンプ自動車(A1級)1台配置。購入額2, 386千円
昭和 45 年 1 月	救急車(ニッサンB型)1台配置(消防庁より寄贈)
昭和 45 年 4 月	水そう付消防ポンプ自動車(1型、A1級)1台配置。購入額3, 180千円
昭和 46 年 5 月	広報連絡車(三菱ギャラン)1台配置(日本消防協会より寄贈)
昭和 46 年 12 月	消防専用超短波無線電話(移動局)2基増設
昭和 48 年 1 月	消防ポンプ自動車(A2級)1台増配置。購入額2, 705千円
昭和 48 年 3 月	消防専用超短波無線電話、周波数改正により更新(周波数152. 08MC) 基地局1基、移動局2基
昭和 49 年 3 月	消防専用超短波無線電話、移動局3基更新(周波数改正)
昭和 50 年 4 月	消防本部組織改編、課制施行。消防課、庶務係、警防係、予防係、1課3係
昭和 50 年 9 月	救急車(2B型)1台増配置。(日本消防協会より寄贈)
昭和 50 年 9 月	救急車(セドリック)1台廃棄。(日赤鳥取支部より貸与分)

3 鳥取県西部広域行政管理組合の消防

昭和 51 年 5 月 “鳥取県西部広域消防発足”

鳥取県西部地域における常備消防体制の確立をはかるため、鳥取県西部広域行政管理組合(米子市、境港市、西伯町、会見町、岸本町、日吉津村、淀江町、大山町、名和町、中山町、日南町、日野町、江府町及び溝口町の2市12町村で構成)においては、昭和51年4月13日政令指定を受け、組合において消防業務を処理することになり、昭和51年5月1日組合消防本部、米子消防署、境港消防署を開庁して業務を開始し、全面業務開始の昭和51年10月1日に向け、庁舎の建設、人員、器材の整備充足を図ることになった。

発足時の消防勢力は、消防職員数112人、消防ポンプ自動車8台、水そう付ポンプ自動車3台、化学消防自動車2台、屈折はしご付消防ポンプ自動車1台、救急自動車5台、指揮車1台、査察広報車3台、作業車1台

火災出場は、米子市、境港市の区域とし、救急出場は、米子市、境港市及び西伯郡の区域とする。

初代名和義則消防長就任

昭和 51 年 6 月 2 日	住友生命相互会社から救急自動車(無線機付)1台の寄贈を受け配置
昭和 51 年 7 月 1 日	消防職員31名採用
昭和 51 年 7 月 16 日	広報車1台購入(日本消防協会配車)
昭和 51 年 8 月 1 日	松江地区消防組合及び安来市能義郡消防組合との間に中海消防相互応援協定を締結
昭和 51 年 9 月 25 日	消防ポンプ自動車2台を購入(江府、大山出張所配置)
昭和 51 年 9 月 30 日	広報車1台を購入
昭和 51 年 10 月 1 日	米子消防署大山出張所及び江府出張所を開設し、管内全域において業務運用開始
昭和 51 年 10 月 2 日	救急指令装置完成
昭和 51 年 11 月 13 日	40m級梯子付消防自動車を購入し、米子消防署に配備
昭和 51 年 11 月 15 日	日本損害保険協会から救急自動車1台の寄贈を受け、大山出張所に配置
昭和 52 年 2 月 22 日	消防ポンプ自動車4台購入(西伯、溝口、生山、中山出張所配置)
昭和 52 年 3 月 14 日	消防ポンプ自動車1台購入(弓浜出張所配置)
昭和 52 年 3 月 29 日	古峠山無線中継局が完成
昭和 52 年 4 月 1 日	消防職員定数208名 消防職員67名を採用し、彦名小学校跡において彦名消防研修所を開設して初任研修を開始
昭和 52 年 4 月 26 日	広報車1台購入(中山出張所配置)
昭和 52 年 5 月 1 日	退職職員の補充として消防職員4人採用
昭和 52 年 5 月 17 日	指揮車1台を購入し、米子消防署に配置
昭和 52 年 6 月 30 日	彦名消防研修所の研修を修了し、閉所
昭和 52 年 7 月 1 日	米子消防署西伯出張所、同溝口出張所、同生山出張所、同中山出張所の庁舎が完成し、それぞれ業務を開始 境港市小篠津町668番地の仮庁舎で、境港消防署弓浜出張所を開設し、業務を開始
昭和 52 年 9 月 17 日	日本消防協会から救急自動車1台の寄贈を受け、米子消防署に配置
昭和 52 年 10 月 4 日	鳥取県共済生活協同組合から広報車1台の寄贈を受け、米子消防署に配置
昭和 52 年 11 月 1 日	境港消防署弓浜出張所庁舎の工事が完成し、米子市大篠津町2, 913番地1の新庁舎において業務を開始し、仮庁舎を閉所
昭和 52 年 12 月 9 日	消防ポンプ自動車(CD-I)7台を購入し、江府、大山、西伯、溝口、生山、中山、弓浜の各出張所に配置
昭和 53 年 2 月 6 日	株式会社菊屋から救急自動車1台の寄贈を受け、米子消防署に配置
昭和 53 年 3 月 31 日	中部広域行政管理組合との間に西部、中部地区消防相互応援協定を締結
昭和 53 年 5 月 1 日	退職職員の補充として消防職員2名採用
昭和 53 年 5 月 30 日	日本損害保険協会から水そう付消防ポンプ自動車1台の寄贈を受け、米子消防署に配置
昭和 53 年 6 月 1 日	退職職員の補充として、消防職員1名採用
昭和 53 年 6 月 9 日	指揮広報車2台を購入し、西伯出張所及び溝口出張所に配置
昭和 53 年 11 月 27 日	消防ポンプ自動車(CD-I)2台を購入し、米子消防署及び皆生出張所に配置

昭和 53 年 11 月 28 日	日本損害保険協会から化学消防ポンプ自動車1台の寄贈を受け、境港消防署に配置
昭和 54 年 2 月 20 日	救助工作車1台を購入し、米子消防署に配置
昭和 54 年 4 月 1 日	消防職員定数220名 消防職員12名採用
昭和 54 年 6 月 5 日	指令広報車1台を購入し、境港消防署弓浜出張所に配置
昭和 54 年 6 月 11 日	指揮車1台を購入し、米子消防署に配置
昭和 54 年 10 月 1 日	本部総務課に教養係を設け、本部予防課指導係を廃して危険物係、建築係とし、境港消防署に機械係を新設
昭和 54 年 10 月 13 日	境港美保ライオンズクラブから救急車1台の寄贈を受け、境港消防署に配置
昭和 54 年 10 月 17 日	水そう付消防ポンプ自動車1台を購入し、米子消防署に配置
昭和 54 年 10 月 27 日	消防ポンプ自動車(BD－I 型)1台を購入し、境港消防署に配置
昭和 54 年 11 月 1 日	山陰酸素工業株式会社から広報車1台の寄贈を受け米子消防署に配置
昭和 54 年 12 月 1 日	指令広報車1台を購入し、境港消防署に配置
昭和 55 年 3 月 26 日	合資会社キョートスポーツから救急車1台の寄贈を受け、米子消防署に配置
昭和 55 年 4 月 1 日	消防職員定数232名 消防職員14名採用
昭和 55 年 7 月 1 日	中山出張所及び生山出張所救急業務を開始
昭和 55 年 8 月 27 日	日本消防協会から救急車1台の寄贈を受け、中山出張所に配置
昭和 55 年 8 月 29 日	日本消防協会から指令広報車1台の寄贈を受け、米子消防署に配置
昭和 55 年 10 月 29 日	中山地区前進基地局開局(消防無線呼出名称西部消防中山)
昭和 55 年 11 月 7 日	消防ポンプ自動車(BD－1型)1台を購入し、米子消防署に配置
昭和 55 年 11 月 25 日	水そう付消防ポンプ自動車1台を購入し、境港消防署に配置
昭和 55 年 12 月 5 日	鳥取県消防設備保安協会より原動機付自転車2台及び和文タイプライター1台の寄贈を受け、米子消防署に配置
昭和 55 年 12 月 26 日	化学消防自動車1台を購入し、米子消防署に配置
昭和 56 年 1 月 20 日	救急車(3B型)1台を購入し、米子消防署に配置
昭和 56 年 4 月 1 日	消防職員の定数242名 消防職員14名採用
昭和 56 年 7 月 24 日	空気呼吸器充填用高圧コンプレッサーを皆生出張所に配備
昭和 56 年 9 月 30 日	日本消防協会から小型工作車1台の寄贈を受け、境港消防署に配置
昭和 56 年 11 月 30 日	水槽付消防ポンプ自動車1台を購入し、皆生出張所に配置
昭和 57 年 4 月 1 日	消防職員定数246名 消防職員9名採用 消防本部の機構の一部改正(1本部、4署、6出張所) 大山消防署、江府消防署開設(米子消防署大山、江府出張所をそれぞれ消防署に昇格) 第2代仲田末男消防長就任
昭和 57 年 5 月 31 日	指揮車1台更新(米子消防署)

昭和 57 年 6 月 1 日	防火基準適合表示制度(「表示マーク」交付)実施
昭和 57 年 7 月 16 日	小型動力ポンプB2級2台を購入し米子、大山消防署に配置
昭和 57 年 11 月 16 日	消防ポンプ自動車(CD－Ⅱ型)1台更新(米子消防署)
昭和 58 年 3 月 31 日	中山地区救急波前進基地局新設
昭和 58 年 4 月 1 日	鳥取県消防学校開校 教官として2名の職員を派遣
昭和 58 年 8 月 31 日	日本消防協会から救急自動車(2B型)1台の寄贈を受け境港消防署に配置
昭和 59 年 2 月 24 日	小型動力ポンプB2級2台を購入し西伯、中山出張所に配置
昭和 59 年 3 月 9 日	日本損害保険協会から救急自動車(2B型)1台の寄贈を受け大山消防署 中山出張所に配置
昭和 59 年 7 月 1 日	第3代西田英二消防長就任
昭和 59 年 7 月 20 日	消防本部庁舎に冷房設備を設置
昭和 59 年 12 月 25 日	無線施設空中線塔の改修工事
昭和 60 年 3 月 10 日	境港消防署庁舎に冷暖房設備を設置
昭和 60 年 3 月 20 日	大山消防署中山出張所移転新築落成。中山町松河原弓ノ木880 (起工 昭和59年8月7日)
昭和 60 年 8 月 15 日	境港消防署第2消防車庫新築落成 (起工 昭和60年5月20日)
昭和 60 年 8 月 21 日	日本消防協会から救急自動車(2B型)1台の寄贈を受け米子消防署に配置
昭和 61 年 5 月 22 日	指令車1台を購入し、消防本部に配置
昭和 61 年 9 月 27 日	山陰酸素工業株式会社から連絡車1台の寄贈を受け、消防本部に配置
昭和 61 年 11 月 25 日	山之内製薬株式会社より救急車1台の寄贈を受け、大山消防署に配置
昭和 62 年 7 月 25 日	指揮車1台を購入し、消防本部に配置
昭和 62 年 8 月 19 日	江府消防署及び生山出張所の冷暖房設備改修工事
昭和 62 年 9 月 3 日	日本消防協会より電源照明車1台の寄贈を受け、皆生出張所に配置
昭和 63 年 3 月 23 日	日本損害保険協会より救急車1台の寄贈を受け、江府消防署に配置
昭和 63 年 4 月 1 日	退職職員の補充として、消防職員3名採用 定数246名
昭和 63 年 6 月 29 日	大山消防署の冷暖房設備の改修工事
昭和 63 年 7 月 4 日	広報車1台更新(皆生出張所)
昭和 63 年 8 月 2 日	日本消防協会から救急車(2B型)1台の寄贈を受け皆生出張所に配置
昭和 63 年 9 月 1 日	日本損害保険協会より消防ポンプ自動車(BD－Ⅰ型)1台の寄贈を受け米子 消防署に配置
昭和 63 年 11 月 15 日	消防ポンプ自動車[(CD－Ⅰ型)電動ホースカー付]1台を購入
平成 元年 2 月 25 日	消防ポンプ自動車(CD－Ⅰ型)1台更新(境港消防署)
平成 元年 3 月 30 日	消防本部の受水槽設備の改修及び米子消防署の車庫排気ダクト 設備の工事
平成 元年 4 月 1 日	第4代岩佐弘志消防長就任 消防職員定数253名 消防職員11名採用
平成 元年 5 月 22 日	広報車2台更新(江府、大山消防署配置)
平成 元年 9 月 25 日	超短波無線電話装置の設置
平成 元年 10 月 1 日	溝口出張所に救急隊設置
平成 元年 10 月 25 日	溝口出張所庁舎の増築、改修工事

平成 元 年 10 月 27 日	15m級梯子付消防自動車1台を購入、皆生出張所に配置
平成 元 年 10 月 30 日	救助用資機材(ホルマトロ)一式を購入、米子消防署に配置
平成 元 年 11 月 2 日	作業車1台更新(米子消防署)
平成 元 年 12 月 25 日	溝口出張所に救急自動車(2B型4WD)1台配置
平成 2 年 4 月 1 日	消防職員定数258名 消防職員7名採用
平成 2 年 4 月 1 日	米子消防署皆生出張所に特別救助隊を設置し、業務を開始
平成 2 年 6 月 23 日	広報車3台を購入、皆生、中山、生山出張所に配置
平成 2 年 7 月 31 日	梯子車分解整備、西伯出張所ホース乾燥塔補強
平成 2 年 8 月 21 日	(有)日本消防協会から携帯無線機10台、拡声器2台を寄贈
平成 2 年 8 月 21 日	(有)日本消防協会から指令広報車1台寄贈、境港消防署に配置
平成 2 年 9 月 6 日	救急車(2B型4WD)を購入、生山出張所に配置
平成 2 年 9 月 18 日	日本防火協会から防火広報車1台寄贈、消防本部に配置
平成 2 年 11 月 21 日	生山出張所改装工事
平成 2 年 11 月 30 日	超短波無線電話装置消防波10W2台、救急波10W3台購入
平成 2 年 12 月 14 日	消防ポンプ自動車2台購入、大山、江府消防署に配置
平成 2 年 12 月 21 日	消防本部防水及び外壁改装工事
平成 3 年 1 月 21 日	危険物第4類試験装置一式購入
平成 3 年 2 月 6 日	安田生命保険相互会社から救急自動車(日産2B型)1台寄贈、境港消防署に配置
平成 3 年 3 月 20 日	江府消防署敷地拡張造成工事
平成 3 年 3 月 25 日	米子消防署仮眠室空調機取替修繕
平成 3 年 3 月 27 日	油圧切断機1台購入
平成 3 年 4 月 1 日	消防職員定数262名 消防職員15名採用
平成 3 年 4 月 25 日	日本損害保険協会から化学消防ポンプ自動車1台寄贈、境港消防署に配置
平成 3 年 7 月 12 日	査察用軽自動車2台購入 米子消防署、溝口出張所に配置
平成 3 年 8 月 20 日	西伯出張所冷暖房改修工事
平成 3 年 9 月 5 日	(有)日本消防協会から救急車1台寄贈、米子消防署に配置
平成 3 年 10 月 1 日	大山消防署敷地拡張造成工事
平成 3 年 10 月 22 日	消防本部新庁舎建設用地取得
平成 3 年 11 月 27 日	超短波無線電話装置購入 消防波10W2台、救急波1台
平成 4 年 4 月 1 日	消防職員定数264名 消防職員4名採用
平成 4 年 1 月 10 日	消防ポンプ自動車2台購入、中山、生山出張所に配置
平成 4 年 1 月 11 日	消防本部庁舎新築工事着工
平成 4 年 3 月 2 日	空気呼吸器5基、軽量ボンベ9本購入
平成 4 年 5 月 4 日	救急救命士誕生
平成 4 年 7 月 11 日	消防本部主訓練塔新築工事着工 消防本部緊急通信指令施設設置工事着工 消防無線設備改修工事着工 (消防本部・古峠山中継所・日南前進基地・中山前進基地)

平成 4 年 9 月 16 日	(財)日本消防協会から防火広報車寄贈、消防本部配置
平成 4 年 10 月 1 日	消防本部に指令課を新設
平成 4 年 12 月 21 日	高規格救急車1台購入、米子消防署配置 啓発広報車1台購入、消防本部配置
平成 5 年 1 月 22 日	米子消防署救急救命隊発足・業務開始
平成 5 年 2 月 28 日	消防本部庁舎新築工事完成
平成 5 年 3 月 20 日	消防本部主訓練塔新築工事完成
平成 5 年 3 月 26 日	消防本部緊急通信指令施設設置工事完成 消防無線設備改修工事完成 (消防本部・古峠山中継所・日南前進基地・中山前進基地)
平成 5 年 4 月 1 日	消防本部移転、名称も消防本部から消防局に改名 消防職員15名採用
平成 5 年 5 月 24 日	査察用軽自動車2台購入 中山、生山出張所に配置
平成 5 年 6 月 3 日	広報車2台更新(西伯、溝口出張所)
平成 5 年 8 月 30 日	(財)日本消防協会から防火広報車寄贈、消防局に配置
平成 5 年 10 月 1 日	西伯出張所に救急隊設置
平成 5 年 11 月 15 日	西伯出張所の増築・改修工事完成
平成 5 年 1 月 26 日	消防ポンプ自動車2台購入、皆生、西伯出張所に配置
平成 6 年 2 月 26 日	山之内製薬株式会社より救急車1台寄贈、中山出張所に配置
平成 6 年 4 月 1 日	消防職員定員284名 消防職員11名採用
平成 6 年 5 月 10 日	査察用軽自動車2台購入(皆生出張所・西伯出張所に配置)
平成 6 年 5 月 25 日	広報車2台更新(消防局・弓浜出張所に配置)
平成 6 年 9 月 29 日	弓浜出張所庁舎の増築・改修・車庫の新築工事完成
平成 6 年 10 月 1 日	弓浜出張所に救急隊配備
平成 6 年 10 月 13 日	大山消防署救急車の更新
平成 7 年 1 月 17 日	阪神・淡路大震災、救助・救急隊災害派遣(1次～4次)
平成 7 年 2 月 10 日	溝口出張所1号車の更新
平成 7 年 3 月 27 日	(財)日本損害保険協会から高規格救急車寄贈、境港消防署に配置 (弓浜出張所1号車更新)
平成 7 年 4 月 1 日	第5代石上洋二消防局長就任 消防職員3名採用
平成 7 年 4 月 3 日	境港消防署、救急救命隊発足・業務開始
平成 7 年 12 月 23 日	境港消防署、新庁舎完成
平成 8 年 1 月 22 日	消防ポンプ自動車3台購入(米子消防署・大山消防署・江府消防署 に配置)
平成 8 年 2 月 26 日	米子市から連絡車寄贈、消防局に配置
平成 8 年 3 月 26 日	消防ポンプ自動車1台購入、生山出張所に配置
平成 8 年 3 月 28 日	救助工作車(Ⅲ型)1台購入

平成 8 年 4 月 1 日	消防職員定員287名
平成 8 年 4 月 25 日	救助工作車(Ⅲ型)皆生出張所に配置
平成 8 年 5 月 1 日	西部広域消防発足20周年記念式典開催
平成 8 年 12 月 19 日	25m級梯子車1台購入、境港消防署に配置
平成 8 年 12 月 25 日	査察用軽自動車1台購入、弓浜出張所に配置
平成 9 年 1 月 31 日	消防ポンプ自動車2台購入(西伯出張所・溝口出張所に配置)
平成 9 年 4 月 1 日	消防職員5名採用
平成 9 年 8 月 20 日	日本宝くじ協会から消火通報指導車寄贈、消防局に配置
平成 9 年 9 月 16 日	高規格救急車1台購入、大山消防署に配置
平成 9 年 10 月 1 日	大山消防署、救急救命隊業務開始
平成 9 年 11 月 7 日	タンク車及び消防ポンプ自動車各1台購入、弓浜出張所・中山出張所に配置
平成 9 年 11 月 25 日	皆生出張所庁舎の増築・改修工事完成
平成 9 年 12 月 25 日	資機材搬送車1台購入、米子消防署に配置
平成 10 年 4 月 1 日	消防職員1名採用
平成 10 年 7 月 1 日	境港消防署に水難救助隊を設置し、業務を開始
平成 10 年 7 月 6 日	鳥取県消防防災航空隊の運用を開始した。 3名の職員を派遣
平成 10 年 11 月 30 日	江府消防署庁舎の増築・改修工事完成
平成 11 年 1 月 14 日	高規格救急車1台購入、江府消防署に配置
平成 11 年 1 月 25 日	消防ポンプ自動車2台購入(米子消防署・境港消防署に配置)
平成 11 年 1 月 25 日	タンク車1台購入、米子消防署に配置
平成 11 年 2 月 1 日	江府消防署、救急救命隊業務開始
平成 11 年 3 月 10 日	現場指揮車1台購入、米子消防署に配置
平成 11 年 3 月 31 日	境海上保安部と鳥取県西部消防局との消防業務協定締結
平成 11 年 4 月 1 日	消防職員1名採用
平成 11 年 5 月 7 日	鳥取県西部圏域危険物等事故対策協議会設立総会開催
平成 11 年 8 月 19 日	鳥取県西部圏域危険物等事故対策協議会合同訓練会
平成 11 年 12 月 31 日	Y2K越年警戒体制
平成 12 年 1 月 24 日	消防ポンプ自動車1台購入、米子消防署に配置
平成 12 年 1 月 24 日	タンク車1台購入、境港消防署に配置
平成 12 年 1 月 31 日	大山消防署庁舎の増築・改修工事完成
平成 12 年 2 月 21 日	救助工作車(Ⅱ型)1台購入、境港消防署に配置
平成 12 年 3 月 23 日	(財)日本損害保険協会から高規格救急車寄贈、米子消防署に配置 米子救急救命車を更新
平成 12 年 3 月 27 日	大山消防署敷地拡張
平成 12 年 10 月 6 日	鳥取県西部地震発生(13時30分・マグニチュード7. 6)
平成 13 年 1 月 15 日	高規格救急車1台購入、生山出張所に配置
平成 13 年 1 月 16 日	40m級梯子車1台購入、米子消防署に配置
平成 13 年 2 月 1 日	生山出張所、救急救命隊業務開始
平成 13 年 2 月 28 日	化学消防自動車1台購入、境港消防署に配置
平成 13 年 4 月 1 日	第6代清水隆消防局長就任
平成 13 年 4 月 1 日	消防職員7名採用、防災支援要員4名配置
平成 13 年 4 月 1 日	鳥取県防災監危機管理課に職員1名派遣

平成 13 年 11 月 19 日	高規格救急車1台購入、中山出張所に配置
平成 13 年 12 月 1 日	中山出張所、救急救命隊業務開始
平成 14 年 1 月 31 日	(財)日本損害保険協会からタンク車寄贈、皆生出張所に配置
平成 14 年 1 月 31 日	中山出張所改築改修工事完成
平成 14 年 4 月 1 日	第7代廣谷耕史消防局長就任
平成 14 年 4 月 1 日	消防職員3名採用
平成 14 年 4 月 1 日	大山消防署特殊災害隊発足
平成 14 年 12 月 20 日	広報車1台購入、皆生出張所に配置
平成 15 年 1 月 21 日	救助工作車(Ⅱ型)1台購入、江府消防署に配置
平成 15 年 3 月 20 日	指揮車1台購入、境港消防署に配置
平成 15 年 4 月 1 日	消防職員3名採用
平成 15 年 4 月 1 日	鳥取県防災局消防課に職員1名派遣
平成 15 年 10 月 15 日	広報車2台購入(米子消防署・大山消防署に配置)
平成 15 年 11 月 17 日	高規格救急車1台購入、西伯出張所に配置
平成 15 年 12 月 1 日	西伯出張所、救急救命隊業務開始
平成 16 年 3 月 5 日	広報車2台購入(中山出張所・生山出張所に配置)
平成 16 年 3 月 17 日	指揮車2台購入(大山消防署・江府消防署に配置)
平成 16 年 4 月 1 日	消防職員1名採用
平成 16 年 4 月 1 日	総務省消防庁に職員1名を派遣
平成 16 年 10 月 1 日	西伯町と会見町が合併し、南部町が誕生
平成 16 年 10 月 1 日	米子消防署西伯出張所を米子消防署南部出張所に名称変更
平成 16 年 11 月 29 日	高規格救急車1台購入、溝口出張所に配置
平成 16 年 12 月 15 日	溝口出張所、救急救命隊業務開始
平成 17 年 1 月 1 日	岸本町と溝口町が合併し、伯耆町が誕生
平成 17 年 1 月 1 日	江府消防署溝口出張所を米子消防署伯耆出張所に名称変更
平成 17 年 1 月 12 日	消防ポンプ自動車1台購入、境港消防署に配置
平成 17 年 2 月 23 日	高規格救急車1台購入、弓浜出張所に配置
平成 17 年 3 月 9 日	弓浜出張所、救急救命隊業務開始
平成 17 年 3 月 28 日	大山町・名和町・中山町が合併し、大山町が誕生
平成 17 年 3 月 31 日	指令設備を更新し、高機能指令システムを導入
平成 17 年 3 月 31 日	米子市と淀江町が合併し、米子市が誕生
平成 17 年 4 月 1 日	第8代中田正男消防局長就任
平成 17 年 4 月 1 日	消防職員定員292名
平成 17 年 4 月 1 日	消防職員8名採用
平成 17 年 11 月 20 日	高規格救急車1台購入、米子消防署に配置
平成 17 年 12 月 1 日	皆生出張所、米子消防署救急2分隊高規格救急車を使用し 救急救命隊業務開始
平成 17 年 12 月 21 日	(財)日本損害保険協会から高規格救急車寄贈、皆生出張所に配置
平成 18 年 2 月 28 日	タンク車1台購入、伯耆出張所に配置
平成 18 年 4 月 1 日	消防職員2名採用
平成 18 年 4 月 1 日	総務省消防庁に職員1名派遣
平成 18 年 11 月 24 日	米子市危険物保安協会から広報車1台寄贈、消防局に配置

平成 19 年 2 月 23 日	タンク車1台購入、大山消防署に配置
平成 19 年 4 月 1 日	米子消防署 新庁舎完成
平成 19 年 4 月 1 日	消防職員2名採用
平成 19 年 11 月 28 日 ～ 29 日	平成19年度中国・四国ブロック 緊急消防援助隊合同訓練
平成 19 年 12 月 24 日	化学車1台購入、米子消防署に配置
平成 19 年 12 月 31 日	消防無線基幹改良工事
平成 20 年 1 月 31 日	高規格救急車1台購入、大山消防署に配置
平成 20 年 4 月 1 日	第9代浦木昇消防局長就任
平成 20 年 4 月 1 日	消防職員3名採用
平成 20 年 4 月 1 日	総務省消防庁に職員1名派遣
平成 21 年 1 月 28 日	消防ポンプ自動車1台購入、生山出張所に配置
平成 21 年 2 月 19 日	高規格救急車1台購入、米子消防署に配置
平成 21 年 4 月 1 日	消防職員5名採用
平成 21 年 11 月 2 日	高度救助隊発足
平成 21 年 12 月 9 日	国際消防救助隊編成協力市町村の登録
平成 22 年 1 月 26 日	高規格救急車1台購入、江府消防署に配置
平成 22 年 2 月 15 日	消防ポンプ自動車1台購入、皆生出張所に配置
平成 22 年 3 月 26 日	高規格救急車1台購入、境港消防署に配置
平成 22 年 4 月 1 日	第10代桑名強消防局長就任
平成 22 年 4 月 1 日	消防職員定員304名となる。
平成 22 年 4 月 1 日	消防職員14名採用
平成 22 年 4 月 1 日	国際消防救助隊員6名登録
平成 23 年 1 月 14 日	支援車Ⅰ型を総務省消防庁より無償使用、消防局に配置
平成 23 年 2 月 24 日	消防ポンプ自動車2台購入、弓浜出張所・中山出張所に配置
平成 23 年 3 月 7 日	高規格救急車1台購入、生山出張所に配置
平成 23 年 3 月 12 日 ～ 21 日	東日本大震災により、宮城県南三陸町へ緊急消防援助隊鳥取県隊として出動
平成 23 年 4 月 1 日	消防職員定員313名
平成 23 年 4 月 1 日	消防職員20名採用
平成 23 年 7 月 2 日	消防救急デジタル無線 一部運用開始(救急業務のみ)
平成 23 年 12 月 9 日	伯耆出張所庁舎改修
平成 23 年 12 月 19 日	消防ポンプ自動車2台購入、伯耆出張所・南部出張所に配置
平成 23 年 12 月 21 日	作業車1台購入、消防局に配置
平成 23 年 12 月 22 日	南部出張所庁舎改修
平成 23 年 3 月 21 日	屈折梯子車1台購入、皆生出張所に配置
平成 24 年 4 月 1 日	消防職員定員322名
平成 24 年 4 月 1 日	消防職員18名採用
平成 24 年 4 月 1 日	総務省消防庁に職員1名派遣
平成 24 年 4 月 13 日	鳥取西部農業協同組合から高規格救急車1台寄贈、中山出張所に配置
平成 24 年 12 月 17 日	消防ポンプ自動車3台購入、境港消防署・大山消防署・江府消防署に配置
平成 25 年 2 月 13 日	化学車1台購入、境港消防署に配置
平成 25 年 2 月 21 日	弓浜出張所庁舎改修
平成 25 年 2 月 28 日	生山出張所庁舎改修
平成 25 年 3 月 11 日	人員搬送車を総務省消防庁より無償使用、消防局に配置
平成 25 年 4 月 1 日	第11代武本和之消防局長就任
平成 25 年 4 月 1 日	消防職員定員327名
平成 25 年 4 月 1 日	消防職員15名採用

平成 26 年	2 月	20 日	機動連絡車を総務省消防庁より無償使用、消防局に配置
平成 26 年	2 月	25 日	消防ポンプ自動車1台購入、米子消防署に配置
平成 26 年	3 月	6 日	江府消防署庁舎改修、車庫新設
平成 26 年	3 月	13 日	救助工作車Ⅲ型1台購入、皆生出張所に配置
平成 26 年	3 月	14 日	高規格救急車1台購入、南部出張所に配置
平成 26 年	4 月	1 日	総務省消防庁に職員1名派遣
平成 26 年	4 月	1 日	消防職員定員319名
平成 26 年	4 月	1 日	消防職員20名採用
平成 26 年	7 月	3 日	消防広報車1台を購入、消防局に配置
平成 26 年	12 月	22 日	救命ボート1隻を購入、境港消防署へ配置
平成 27 年	1 月	23 日	ボートトレーラー1台を購入、境港消防署に配置
平成 27 年	2 月	25 日	高規格救急自動車1台を購入、米子消防署に配置
平成 27 年	2 月	25 日	消防ポンプ自動車1台を購入、米子消防署に配置
平成 27 年	2 月	26 日	高規格救急自動車1台を購入、伯耆出張所に配置
平成 27 年	3 月	6 日	水難救助支援車1台を購入、境港消防署に配置
平成 27 年	3 月	16 日	米子消防署皆生出張所移転先用地取得 (3,113.11㎡)
平成 27 年	3 月	17 日	高機能消防指令センター更新整備
平成 27 年	4 月	1 日	第12代木山文也消防局長就任
平成 27 年	4 月	1 日	消防職員定員314名
平成 27 年	4 月	1 日	消防職員14名採用
平成 27 年	6 月	30 日	消防査察自動車2台購入、消防局、米子消防署に配置
平成 27 年	7 月	10 日	消防査察自動車1台寄付受納、(株)上田商事様 米子消防署に配置
平成 27 年	12 月	24 日	日南前進基地局(生山無線中継局)解体撤去
平成 28 年	1 月	6 日	大山消防署庁舎空調設備改修
平成 28 年	1 月	6 日	江府消防署庁舎空調設備改修
平成 28 年	2 月	26 日	高規格救急自動車2台を購入、皆生出張所、弓浜出張所に配置
平成 28 年	2 月	29 日	消防ポンプ自動車2台を購入、南部出張所、生山出張所に配置
平成 28 年	3 月	31 日	米子消防署皆生出張所移転先用地造成工事完了
平成 28 年	4 月	1 日	消防職員定員312名
平成 28 年	4 月	1 日	消防職員26名採用
平成 28 年	4 月	1 日	総務省消防庁に職員1名派遣
平成 28 年	4 月	16 日	熊本地震により、熊本県益城町へ緊急消防援助隊鳥取県隊として出動
		～ 21 日	
平成 28 年	6 月	29 日	米子消防署皆生出張所新築移転工事着工(平成29年5月完成予定)
平成 28 年	9 月	20 日	消防査察自動車1台購入、消防局に配置
平成 29 年	1 月	12 日	消防広報車1台を購入、伯耆出張所に配置
平成 29 年	1 月	26 日	高規格救急自動車1台を購入、大山消防署に配置
平成 29 年	2 月	28 日	消防ポンプ自動車2台を購入、米子消防署、伯耆出張所に配置
平成 29 年	3 月	8 日	消防ポンプ自動車1台を購入、弓浜出張所に配置
平成 29 年	4 月	1 日	第13代天野智消防局長就任
平成 29 年	4 月	1 日	消防職員定員314名
平成 29 年	4 月	1 日	消防職員19名採用
平成 29 年	5 月	27 日	米子消防署皆生出張所新築移転工事完了
平成 29 年	6 月	1 日	米子消防署皆生出張所新庁舎運用開始(鉄骨造2階建延面積1320.53㎡)
平成 29 年	11 月	24 日	消防広報車2台を購入、南部出張所、弓浜出張所に配置
平成 29 年	12 月	27 日	消防ポンプ自動車2台を購入、米子消防署、中山出張所に配置
平成 30 年	4 月	1 日	第14代藤山史郎消防局長就任
平成 30 年	4 月	1 日	消防職員定数316名
平成 30 年	4 月	1 日	消防職員18名採用
平成 30 年	4 月	1 日	総務省消防庁に職員1名派遣

平成 30 年	7 月	12 日	平成30年7月豪雨により、広島県広島市安芸区及び安芸郡海田町へ緊急消防援助
	～	24 日	隊鳥取県隊として出動
平成 31 年	3 月	20 日	高規格救急自動車1台を購入、境港消防署に配置
平成 31 年	3 月	27 日	資機材搬送車1台を購入、米子消防署に配置
平成 31 年	3 月	27 日	消防広報車1台を購入、米子消防署に配置
平成 31 年	4 月	1 日	消防職員定数300名
平成 31 年	4 月	1 日	消防職員11名採用
令和 2 年	3 月	3 日	高機能消防指令センター部分更新整備
令和 2 年	3 月	19 日	高規格救急自動車1台を購入、米子消防署に配置
令和 2 年	3 月	26 日	重機及び重機搬送車を総務省消防庁より無償使用、消防局に配置
令和 2 年	4 月	1 日	消防職員定数292名
令和 2 年	4 月	1 日	消防職員8名採用
令和 2 年	4 月	1 日	総務省消防庁に職員1名派遣
令和 3 年	1 月	15 日	タンク車1台を購入、伯耆出張所に配置
令和 3 年	3 月	5 日	指揮車1台を購入、消防局に配置
令和 3 年	3 月	11 日	高規格救急自動車1台を購入、境港消防署に配置
令和 3 年	3 月	19 日	高規格救急自動車1台を購入、江府消防署に配置
令和 3 年	4 月	1 日	消防職員7名採用
令和 3 年	11 月	19 日	タンク車1台納入、江府消防署に配置
令和 3 年	11 月	24 日	指揮車1台納入、境港消防署に配置
令和 4 年	3 月	15 日	高規格救急自動車1台を購入、生山出張所に配置
令和 4 年	4 月	1 日	第15代赤川紀夫消防局長就任
令和 4 年	4 月	1 日	消防職員8名採用
令和 4 年	4 月	1 日	総務省消防庁に職員1名派遣
令和 5 年	2 月	28 日	高規格救急自動車1台を購入、中山出張所に配置
令和 5 年	3 月	1 日	指揮車1台を購入、江府消防署に配置
令和 5 年	3 月	1 日	指揮車1台を購入、大山消防署に配置
令和 5 年	4 月	1 日	消防職員5名採用
令和 5 年	8 月	30 日	大山消防署大規模改修工事完了し、竣工式を実施(敷地面積:1854㎡)
令和 6 年	1 月	9 日	令和6年能登半島地震により、石川県穴水町へ緊急消防援助隊鳥取県隊として
	～	21 日	出動
令和 6 年	2 月	1 日	梯子車1台を購入、境港消防署に配置
令和 6 年	3 月	1 日	指揮車1台を購入、米子消防署に配置
令和 6 年	3 月	1 日	消防広報車3台を購入、米子消防署、皆生出張所、大山消防署に配置
令和 6 年	3 月	27 日	米子消防署南部出張所改修工事完了
令和 6 年	4 月	1 日	第16代安達憲吾消防局長就任
令和 6 年	4 月	1 日	消防職員16名採用
令和 6 年	4 月	1 日	総務省消防庁に職員1名派遣
令和 7 年	1 月	31 日	広報車1台を購入、中山出張所に配置
令和 7 年	1 月	31 日	広報車1台を購入、生山出張所に配置
令和 7 年	3 月	17 日	高規格救急自動車1台を購入、南部出張所に配置
令和 7 年	4 月	1 日	消防職員13名採用
令和 7 年	12 月	3 日	江府消防署移転新築工事完了(敷地面積:2, 411.2㎡)
令和 8 年	1 月	16 日	救急車1台を購入、伯耆出張所に配置
令和 8 年	3 月	3 日	工作車1台を購入、境港消防署に配置
令和 8 年	3 月	13 日	化学車1台を購入、境港消防署に配置
令和 8 年	3 月	16 日	救急車1台を購入、米子消防署に配置
令和 8 年	3 月	19 日	米子消防署伯耆出張所大規模改修工事完了
令和 8 年	4 月	1 日	高機能消防指令センター運用開始
令和 8 年	4 月	1 日	第17代岩田幸博消防局長就任
令和 8 年	4 月	1 日	消防職員16名採用
令和 8 年	4 月	1 日	総務省消防庁に職員1名派遣

歴代の管理者・議長

歴代管理者

米子市長	河合弘道	(S47.4.30～S58.4.29)
〃	松本 徹	(S58.4.30～H 3.4.29)
〃	森田隆朝	(H3.4.30～H15.4.29)
〃	野坂康夫	(H15.4.30～H29.4.23)
〃	伊木隆司	(H29.4.24～)

歴代議長

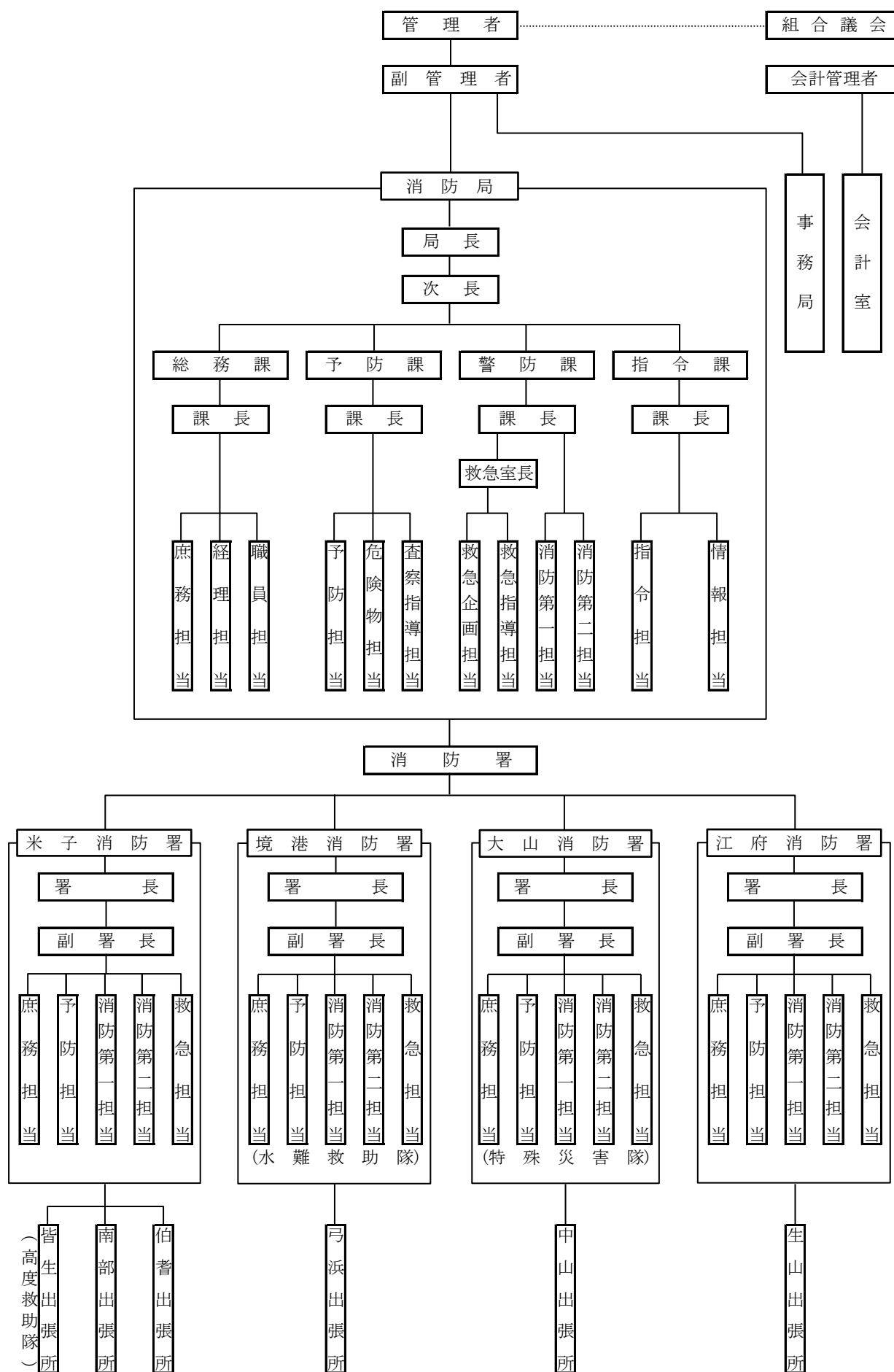
初代	足立六郎	(米子市) S47.8.16～S50.4.30
二代	田丸喜久治	(〃) S50.7.28～S54.4.30
三代	安達昭男	(〃) S54.6.2～S56.6.29
四代	田村繁夫	(〃) S56.10.16～S57.12.9
五代	福谷 清	(〃) S58.1.31～S58.4.30
六代	広江 弑	(〃) S58.6.10～S59.7.19
七代	国尾 茂	(〃) S59.10.8～S61.7.17
八代	茅野恒治	(〃) S61.9.5～S62.4.30
九代	種原敏彦	(〃) S62.6.11～H元.6.23
十代	塚田喜美	(〃) H元.6.23～H3.4.30
十一代	福谷 清	(〃) H3.6.13～H5.6.25
十二代	足芝孝幸	(〃) H5.10.25～H7.4.30
十三代	間瀬庄作	(〃) H7.7.13～H11.4.30
十四代	平田 賢	(〃) H11.7.29～H13.6.22
十五代	中本実夫	(〃) H13.7.12～H15.4.30
十六代	生田 薫	(〃) H15.7.28～H17.3.30
十七代	生田 薫	(〃) H17.4.15～H18.6.30
十八代	吉岡知己	(〃) H18.7.20～H20.7.10
十九代	中村昌哲	(〃) H20.7.25～H22.6.30
二十代	渡辺照夫	(〃) H22.8.24～H24.6.29
二十一代	松井義夫	(〃) H24.6.29～H26.6.30
二十二代	渡辺穰爾	(〃) H26.8.28～H28.8.3
二十三代	尾沢三夫	(〃) H28.8.3～H30.6.30
二十四代	渡辺穰爾	(〃) H30.8.30～R2.6.30
二十五代	岩崎康朗	(〃) R2.11.19～R4.6.30
二十六代	稲田 清	(〃) R4.8.31～R6.7.4
二十七代	岡田啓介	(〃) R6.8.28～

歴代の消防長

歴代消防長・消防局長

初代消防長	名和義則	S51.5.2～S57.3.31
第二代消防長	仲田末男	S57.4.1～S59.6.30
第三代消防長	西田英二	S59.7.1～H元.3.31
第四代消防長	岩佐弘志	H元.4.1～H7.3.31
第五代消防局長	石上洋二	H7.4.1～H13.3.31
第六代消防局長	清水隆	H13.4.1～H14.3.31
第七代消防局長	廣谷耕史	H14.4.1～H17.3.31
第八代消防局長	中田正男	H17.4.1～H20.3.31
第九代消防局長	浦木昇	H20.4.1～H22.3.31
第十代消防局長	桑名強	H22.4.1～H25.3.31
第十一代消防局長	武本和之	H25.4.1～H27.3.31
第十二代消防局長	木山文也	H27.4.1～H29.3.31
第十三代消防局長	天野智	H29.4.1～H30.3.31
第十四代消防局長	藤山史郎	H30.4.1～R4.3.31
第十五代消防局長	赤川紀夫	R4.4.1～R6.3.31
第十六代消防局長	安達憲吾	R6.4.1～R8.3.31
第十七代消防局長	岩田幸博	R8.4.1～

鳥取県西部広域行政管理組合消防局組織図



消防機関の出動状況等

(令和7年1月1日～令和7年12月31日)

種 別 区 分		計 (ア)～(サ)	火 災 (ア)	救 急 (イ)	救 助 (ウ)
消・ 防署 局所	出 動 回 数	16,464	117	13,751	201
	出 動 延 人 員	62,373	1,317	45,061	3,698

救 急 応 援 (エ)	風 水 害 (オ)	そ の 他 警 戒 (カ)	火 災 誤 報 (キ)	演 習 訓 練 (ク)
875	0	285	14	15
6,226	0	1,099	161	122

※救急応援の出動延べ人数は、救急隊の出動人数を含む。

訓 練 ・ 指 導 (ケ)	警 防 調 査 (コ)	特 別 警 戒 (サ)
221	919	66
949	3,485	255

相互応援協定

令和8年4月1日現在

名 称	協 定 団 体	締結・改訂年月日
中海・宍道湖・大山圏域消防相互応援協定	松江市 (島根県) 安来市 (") 出雲市 (")	平成28年 7月 8日
隠岐島の救急業務の共同処理	松江市 (島根県) 出雲市 (") 隠岐広域連合 (")	平成14年 1月 1日 (改)
高速自動車国道中国横断自動車道岡山米子線における消防相互応援に関する協定	真庭市 (岡山県)	平成17年10月 1日 (改)
山陰道 (米子西～安来) における消防相互応援に関する協定	安来市 (島根県)	平成24年 3月14日
鳥取県下広域消防相互応援協定	鳥取県東部広域行政管理組合 鳥取中部ふるさと広域連合	平成19年 4月30日 (改)
鳥取県西部広域行政管理組合と備北地区消防広域行政組合の消防相互応援協定	備北地区消防広域行政組合 (広島県)	平成12年 3月31日
消防相互応援に関する協定書	新見市 (岡山県) 真庭市 (")	平成17年10月 1日 (改)
	雲南広域連合 (島根県)	平成23年 9月 1日 (改)



事 務 分 掌

1 消防局事務分掌

令和8年4月1日現在

総 務 課	(1) 人事、給与、服務及び例規に関する事。 (2) 総合計画及び企画に関する事。 (3) 予算及び経理に関する事。 (4) 消防用財産の管理に関する事。 (5) 職員の研修に関する事。 (6) 他の課に属しない事。
予 防 課	(1) 火災の予防に関する事。 (2) 危険物の規制に関する事。 (3) 災害原因及び損害の調査に関する事。 (4) 建築同意事務に関する事。 (5) 消防用設備等の指導に関する事。 (6) 火薬類の譲渡、譲受け及び消費の許可に関する事。 (7) 液化石油ガス設備工事の届出に関する事。
警 防 課	(1) 警防業務に関する事。 (2) 救助業務に関する事。 (3) 消防機械器具及びその装備に関する事。 (4) 機関業務に関する事。 (5) 救急業務に関する事。
指 令 課	(1) 消防指令業務に関する事。 (2) 消防関係情報の処理に関する事。 (3) 通信機器の管理に関する事。

2 消防署事務分掌

庶務担当	(1) 署内人事及び賞罰に関すること。 (2) 署員の教養訓練及び服務に関すること。 (3) 経理に関すること。 (4) 各種統計に関すること。 (5) 他の分掌に属さないこと。
予防担当	(1) 災害の調査に関すること。 (2) 予防査察に関すること。 (3) 火災予防の届出等に関すること。 (4) 危険物の規制に関すること。 (5) 建築同意に関すること。 (6) 火災予防の啓発及び宣伝に関すること。 (7) 火災の原因及び損害の調査並びに災証明に関すること。 (8) 液化石油ガス設備工事の届出に関すること。
消防第一担当	(1) 水火災、地震等の警戒及び災害防ぎょに関すること。 (2) 水火災の警防計画に関すること。 (3) 消防訓練の実施に関すること。 (4) 災害の情報の処理に関すること。 (5) 救助業務に関すること。 (6) 消防用器具の維持管理に関すること。

消防第二担当	(1) 消防機械に関する教養及び訓練に関すること。 (2) 消防機械の整備、保全及び検査に関すること。 (3) 消防用地理、水利の点検、調査及び情報に関すること。 (4) 通信指令機器の維持管理に関すること。
救急担当	(1) 救急隊業務に関すること。 (2) 救急指定医療機関との連絡調整に関すること。 (3) 救急統計、報告等に関すること。

3 出張所事務分掌

(1) 火災その他災害防ぎょに関すること。 (2) 文書の収受、発送及び記録の整備保全に関すること。 (3) 庁舎の維持管理及び諸物品の保管に関すること。 (4) 所属職員の教養訓練に関すること。 (5) 予防査察に関すること。 (6) 火災予防の届出等に関すること。 (7) 火災予防の啓発、宣伝に関すること。 (8) 火災の原因及び損害の調査並びにり災証明に関すること。 (9) 消防用地理、水利の点検及び調査に関すること。 (10) 消防用器具及び消防機械の整備保全に関すること。 (11) 水火災その他災害情報連絡及び消防通信に関すること。 (12) 救急業務に関すること。 (13) 救助業務に関すること。 (14) その他出張所に関すること。
--

消 防 職 員

(1-1) 職員配置状況

令和8年4月1日現在

	条 例 定 員	実 員	消 防 正 監	消防監	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士	事 務 職 員
平元.4. 1	253	253	1	2	6	7	33	52	28	112	2
平 2.4. 1	258	258	1	2	6	7	36	57	32	115	2
平 3.4. 1	262	262	1	2	6	11	38	59	33	110	2
平 4.4. 1	264	264	1	2	6	11	43	63	33	103	2
平 5.4. 1	277	277	1	2	6	13	48	63	43	99	2
平 6.4. 1	284	284	1	1	7	14	49	66	53	91	2
平 7.4. 1	284	284	1	2	8	12	54	67	55	83	2
平 8.4. 1	287	284	1	2	8	12	60	71	53	75	2
平 9.4. 1	287	287	1	2	8	12	63	72	53	74	2
平10.4. 1	287	287	1	2	8	12	64	74	56	68	2
平11.4. 1	287	287	1	2	8	12	64	74	56	68	2
平12.4. 1	287	286	1	2	8	13	63	74	56	67	2
平13.4. 1	287	287	1	2	8	14	63	74	57	66	2
平14.4. 1	287	287	1	2	8	15	63	82	51	63	2
平15.4. 1	287	287	1	2	8	15	64	91	38	66	2
平16.4. 1	287	287	1	2	9	33	59	91	37	53	2
平17.4. 1	292	290	1	3	11	38	63	90	36	46	3
平18.4. 1	292	291	1	2	12	47	72	91	29	34	3
平19.4. 1	292	292	1	2	14	45	77	89	28	33	3
平20.4. 1	292	292	1	2	14	47	78	89	27	31	3
平21.4. 1	292	292	1	5	11	49	77	110	3	34	2
平22.4. 1	304	303	1	3	14	54	79	113	11	26	2
平23.4. 1	313	313	1	3	15	62	102	81	4	43	2
平24.4. 1	322	321	1	3	16	68	99	76	0	56	2
平25.4. 1	327	327	1	1	19	75	99	64	14	52	2
平26.4. 1	319	318	1	3	17	64	95	63	20	51	2
平27.4. 1	314	314	1	3	17	75	87	54	26	49	2
平28.4. 1	312	311	1	6	13	73	78	52	30	57	1
平29.4. 1	314	314	1	3	16	74	75	51	36	57	1
平30.4. 1	316	314	1	4	15	69	69	54	39	62	1
平31.4. 1	300	300	1	3	16	59	64	52	54	50	1
令 2.4. 1 (職員定数条例変更)	292	299	1	8	11	58	64	58	58	40	1
令 3.4. 1	292	300	1	8	11	57	66	59	72	25	1
令 4.4. 1	292	298	1	8	11	56	66	58	74	23	1
令 5.4. 1	292	291	1	4	15	57	68	59	68	18	1
令 6.4. 1	292	295	1	3	16	57	69	61	58	29	1
令 7.4. 1	292	296	1	3	16	58	69	59	54	35	1
令 8.4. 1	292	298	1	2	17	59	69	68	39	42	1

(1-2) 職員配置状況

令和8年4月1日現在

		実 員	消防 正監	消防監	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防士	事務 職員
消 防 局	消防局長	1	1								
	総務課	24		1	1	4	1			16	1
	予防課	5			1	4					
	警防課	7			3	3	1				
	指令課	13			2	5	3	3			
	派遣中の者	4				1	2	1			
米子消 防署	本 署	55		1	2	8	15	13	6	10	
	皆生出張所	26			1	3	9	8	5		
	南部出張所	13				2	3	5	2	1	
	伯耆出張所	13				2	3	5	2	1	
境港消 防署	本 署	42			3	7	11	8	7	6	
	弓浜出張所	13				2	3	5	2	1	
大山消 防署	本 署	28			2	7	6	5	5	3	
	中山出張所	13				2	3	5	3		
江府消 防署	本 署	28			2	7	6	5	5	3	
	生山出張所	13				2	3	5	2	1	
合 計		298	1	2	17	59	69	68	39	42	1

(2) 職員在職年数

令和8年4月1日現在

	計	消防 正監	消防監	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防士	事務 職員
人数	298	1	2	17	59	69	68	38	43	1
平均年数	15	38	39	36	30	15	9	5	1	1
1年未満	16								16	
1年	14								13	1
2年	15							1	14	
3年	4							4		
4年	8							8		
5年	6							6		
6年	7							7		
7年	6							6		
8年	16						10	6		
9年	17						17			
10年	21						21			
11年	8						8			
12年	17					9	8			
13年	13					10	3			
14年	15					14	1			
15年	15				1	14				
16年	11					11				
17年	3					3				
18年	2					2				
19年	2				1	1				
20年	2					2				
21年	7				5	2				
22年	1					1				
23年	2				2					
24年	2				2					
25年	6				6					
26年										
27年	1				1					
28年										
29年	5				5					
30年										
31年	3			1	2					
32年	11			2	9					
33年	12				12					
34年	3			1	2					
35年	7			3	4					
36年	5			3	2					
37年	7			5	2					
38年	2	1	1							
39年	3		1	2						
40年	1				1					
41年										
42年										
43年	2				2					
44年										
45年										

(3) 職員年齢構成

令和8年4月1日現在

	計	消防 正監	消防監	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防士	事務 職員
人数	298	1	2	17	59	69	68	39	42	1
平均年齢	36.3	56.0	56.5	54.5	50.7	37.6	30.6	25.2	20.6	55.0
18歳未満										
18歳	9								9	
19歳	7								7	
20歳	10								10	
21歳	6							4	2	
22歳	9							4	5	
23歳	9							5	4	
24歳	7							4	3	
25歳	3							3		
26歳	8						1	6	1	
27歳	12						7	4	1	
28歳	15						10	5		
29歳	8						6	2		
30歳	10						10			
31歳	15						13	2		
32歳	9					2	7			
33歳	12					7	5			
34歳	8					5	3			
35歳	10					7	3			
36歳	8					7	1			
37歳	11					9	2			
38歳	11					11				
39歳	5					5				
40歳	3				1	2				
41歳	2					2				
42歳	4					4				
43歳	5				2	3				
44歳	5				3	2				
45歳	4				3	1				
46歳	2				1	1				
47歳	3				2	1				
48歳	5				5					
49歳	3				3					
50歳	6			1	5					
51歳	11			1	10					
52歳	6				6					
53歳	9			4	5					
54歳	7			3	4					
55歳	6			3	2					1
56歳	5	1	1	2	1					
57歳	4		1	1	2					
58歳	2			1	1					
59歳	1			1						
60歳										
61歳	3				3					
62歳										

(4) 職員研修

ア 委託研修(その1)

令和8年4月1日現在

年度別 教育内容		平成 20 年	21 年	22 年	23 年	24 年	25 年	26 年	27 年	28 年	29 年	30 年	令和 元 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	7 年
消防 大学 校	本科																		
	幹部科	1												1	1		1	1	
	上級幹部科								1				1						1
	予防科				1	1	1	1			1								1
	警防科				1			1					1			1			1
	救急科			1			1		1		1			1			1		
	救助科		1			1			1	1		1			1			1	
	危険物(保安)科								1			1				1			
	火災原因調査科																		
	機械技術者養成科																		
	火災調査科									1			1						
	火災調査講習会																		
	危機管理セミナー																		
	緊急消防援助隊教育科 (NBC対策コース)										1								1
	緊急消防援助隊教育科 (指揮隊長コース)					1		1		1		1				1			
	高度救助コース			1			1								1		1		
	防災講習会																		
	危機管理講習会																		
	違反是正特別講習							1											
	査察業務マネジメントコース													1				1	
	女性活躍推進コース											1							
島根県消防学校																			
山口県消防学校 (水難救助課程)											1	1	1			1	1	1	1
救急救命東京研修所		2	2	1	1	1	1	2		2	2	2	2	2		2	2	2	2
救急救命九州研修所		2	2	1	1	1	1	2	4	2	2	2	2	2	4	2	2	2	2
救急救命士業務実地修練		1	1	1	1	1	1	1		1	1	1	1		1	1	1	1	1
海上自衛隊第一術科学校																			
独立行政法人 海洋研究開発機構 (潜水技術研修)																			
海上自衛隊舞鶴潜水技術研修						1	1												
陸上自衛隊化学学校																			
鈴鹿サーキット交通教育																			
安全運転管理者研修			1	1	1	1		2	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2

(4) 職員研修

イ 委託研修(その2)

令和8年4月1日現在

年度別 教育内容		平成 20 年	21 年	22 年	23 年	24 年	25 年	26 年	27 年	28 年	29 年	30 年	令和 元年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	7 年
鳥 取 県 消 防 学 校	初 任 教 育	3	5	14	20	18	15	20	14										
	初 任 総 合 教 育									26	19	18	11	8	7	8	5	16	13
	現 任 教 育																		
	幹 部 教 育				5														
	上 級 幹 部 教 育						5			5			5			5			3
	中 級 幹 部 教 育	5	5	5		5			5			5			5			4	
	初 級 幹 部 科							5			5			5					4
	救 急 I 課 程																		
	救 急 II 課 程																		
	救 急 科	7		14	20	18	15	20	14										
	救 急 実 務 研 修 会																		
	救急救命士講習(挿管)																		
	救急救命士講習(薬剤)	8	14																
	外 傷 研 修																		
	危 険 物 科				5			5			5			5			4		
	救 助 科		4		5		5		5		5		4		5	5	5		5
	特 殊 災 害 科					5			5			5			5			5	
	無 線 通 信 科																		
	機 関 科																		
	火 災 調 査 科						5			5			5			5			4
	電 気 設 備 科																		
	予 防 査 察 科	5	5			5		5		5		4		5		5		5	
	警 防 科					5		5		5		5		5		4		3	
	予 防 科																		
	梯子自動車講習会																		
	昇 任 者 研 修	6	5																
	指 揮 研 修	5		10	10	10	10						5				5	5	
	管 理 職 研 修			5	5	5													
	警 防 研 修					1	3	3	3		3	3		3	3	3			
	救 助 研 修					3	5	5											
	実火災体験型訓練コース							20	19	20		15							
	ホットトレーニング2日間コース												12		11	12			
	予防研修(違反是正コース)									5	5	5							5
	介 護 研 修													10					
	緊急消防援助隊活性化コース															5	5	5	
	救急救命士活性化コース														5	5	2		

(5) 職員採用試験

ア 消防吏員採用試験(消防職務経験者)

実施日	実施場所	試験内容	受験者数	合格者数
令和7年6月29日	西部消防局	作文試験	0名	—
		面接試験		
令和7年10月19日		作文試験	1名	0名
		面接試験		

イ 消防吏員採用試験

(ア) 第一次試験(令和8年4月1日採用)

実施日	実施場所	試験内容	受験者数
令和7年9月21日	西部消防局	教養試験	33名
		適性検査	
		体力試験	

(イ) 第二次試験(令和8年4月1日採用)

実施日	実施場所	試験内容	受験者数
令和7年10月26日	西部消防局	作文試験	23名
		面接試験	

(ウ) 採用試験実績(過去5年)

年度	受験者数	第一次試験合格者数	最終合格者数	競争率
令和3年度	32名	14名	8名	4.0倍
令和4年度	14名	7名	5名	2.8倍
令和5年度	33名	23名	16名	2.1倍
令和6年度	23名	18名	13名	1.8倍
令和7年度	33名	23名	17名	1.9倍

消防予算の状況



消 防 予 算 の 状 況

(1) 令和8年度当初予算額の対前年度比較

(単位:千円)

科	目	令和8年度予算	令和7年度予算	比 較 増 減
(款) 消 防 費		3,452,014	5,178,124	△ 1,726,110
(項) 消 防 費		3,452,014	5,178,124	△ 1,726,110
(目) 1 常備消防費		2,895,549	2,782,259	113,290
(節) 1 報	酬	0	0	0
2 給	料	1,108,091	1,078,642	29,449
3 職 員 手 当 等		796,967	698,767	98,200
4 共 済 費		379,596	356,967	22,629
5 災 害 補 償 費		0	0	0
7 報 償 費		595	479	116
8 旅	費	5,104	3,592	1,512
9 交 際 費		10	10	0
10 需 用 費		182,563	179,966	2,597
11 役 務 費		32,921	37,124	△ 4,203
12 委 託 料		31,572	81,802	△ 50,230
13 使 用 料 及 び 貸 借 料		24,050	16,444	7,606
14 工 事 請 負 費		0	0	0
15 原 材 料 費		156	156	0
17 備 品 購 入 費		16,849	13,085	3,764
18 負 担 金 補 助 及 び 交 付 金		25,271	22,435	2,836
21 補 償 補 填 及 び 賠 償 費		0	0	0
24 積 立 金		289,766	290,250	△ 484
26 公 課 費		2,038	2,540	△ 502
(目) 2 消防施設費		556,465	2,395,865	△ 1,839,400
(節) 8 旅	費	115	479	△ 364
10 需 用 費		0	47	△ 47
11 役 務 費		490	744	△ 254
12 委 託 料		10,835	1,375,964	△ 1,365,129
13 使 用 料 及 び 貸 借 料		20	41	△ 21
14 工 事 請 負 費		159,452	663,475	△ 504,023
17 備 品 購 入 費		385,553	354,015	31,538
18 負 担 金 補 助 及 び 交 付 金		0	1,100	△ 1,100

(2) 令和8年度当初予算額の財源内訳

(単位:千円)

区 分 科 目	予 算 額	財 源 内 訳			
		特定財源			一般財源
		国・県支出金	地 方 債	そ の 他	
(款) 消 防 費	3,452,014	121,866	334,100	95,180	2,900,868
(項) 消 防 費	3,452,014	121,866	334,100	95,180	2,900,868
(目) 常備消防費	2,895,549	7,174	0	74,435	2,813,940
(目) 消防施設費	556,465	114,692	334,100	20,745	86,928

(3) 令和7年度決算額

(単位:円)

科 目	当初予算額	予算現額	決算見込額
(款) 消 防 費	5,178,124,000	5,308,990,000	5,262,580,562
(項) 消 防 費	5,178,124,000	5,308,990,000	5,262,580,562
(目) 1 常備消防費	2,782,259,000	2,952,931,000	2,925,789,751
(節) 1 報 酬	0	0	0
2 給 料	1,078,642,000	1,090,346,024	1,088,880,259
3 職 員 手 当 等	698,767,000	840,661,976	840,661,976
4 共 済 費	356,967,000	372,127,000	371,691,500
5 災 害 補 償 費	0	0	0
7 報 償 費	479,000	469,000	407,000
8 旅 費	3,592,000	3,600,220	2,802,071
9 交 際 費	10,000	10,000	0
10 需 用 費	179,966,000	186,700,130	181,697,851
11 役 務 費	37,124,000	36,859,620	29,222,645
12 委 託 料	81,802,000	80,706,000	70,487,461
13 使 用 料 及 び 貸 借 料	16,444,000	15,229,780	14,716,421
14 工 事 請 負 費	0	0	0
15 原 材 料 費	156,000	156,000	152,595
17 備 品 購 入 費	13,085,000	12,265,000	12,196,398
18 負 担 金 補 助 及 び 交 付 金	22,435,000	21,010,250	20,084,374
21 補 償 補 填 及 び 賠 償 費	0	0	0
24 積 立 金	290,250,000	290,250,000	290,250,000
26 公 課 費	2,540,000	2,540,000	2,539,200
(目) 2 消防施設費	2,395,865,000	2,356,059,000	2,336,790,811
(節) 8 旅 費	479,000	600,000	542,184
10 需 用 費	47,000	47,000	11,880
11 役 務 費	744,000	744,000	164,550
12 委 託 料	1,375,964,000	1,360,247,000	1,353,711,700
13 使 用 料 及 び 貸 借 料	41,000	31,000	0
14 工 事 請 負 費	663,475,000	645,292,000	633,506,100
17 備 品 購 入 費	354,015,000	347,998,000	347,754,397
19 負 担 金 補 助 及 び 交 付 金	1,100,000	1,100,000	1,100,000

消 防 施 設



消 防 施 設 等 の 状 況

令和8年4月1日現在

(1) 消防庁舎及び無線中継所の位置・構造

名 称	所 在 地	構 造	建物延面積(㎡)	敷地面積(㎡)
消 防 局		鉄骨鉄筋コンクリート造6階建	3,972.30	
主 訓 練 塔	米子市両三柳5452番地	鉄骨鉄筋コンクリート造7階建	637.00	6,865.23
副 訓 練 塔		鉄骨造2階建	141.00	
米 子 消 防 署	米子市富士見町一丁目103番地1	鉄筋コンクリート造3階建	2,305.35	2,211.85
米 子 消 防 署 皆 生 出 張 所	米子市上福原313番地1	鉄骨造2階建	1,320.53	3,113.11
米 子 消 防 署 南 部 出 張 所	西伯郡南部町清水川3番地1	鉄筋コンクリート造平屋建(一部鉄骨造)	286.52	749.18
米 子 消 防 署 伯 耆 出 張 所	西伯郡伯耆町溝口20番地4	〃	281.67	900.96
境 港 消 防 署	境港市中野町2116番地	鉄筋コンクリート造2階建	1,565.70	5,560.00
境 港 消 防 署 弓 浜 出 張 所	米子市大篠津町2913番地1	鉄筋コンクリート造平屋建 鉄骨造平屋建(自動車車庫)	199.88 52.00	746.00
大 山 消 防 署	西伯郡大山町末吉403番地2	鉄骨造2階建 (一部鉄筋コンクリート造)	648.05	1,884.87
大 山 消 防 署 中 山 出 張 所	西伯郡大山町長野880番地3	鉄筋コンクリート造平屋建 (一部鉄骨造)	330.29	1,136.38
江 府 消 防 署	日野郡江府町大字武庫125番地1	鉄筋コンクリート造2階建 (一部鉄骨造)	1,174.92	2,411.20
江 府 消 防 署 生 山 出 張 所	日野郡日南町生山349番地1	鉄筋コンクリート造平屋建	229.70	782.20
古 峠 山 無 線 中 継 所	西伯郡伯耆町二部字間地山2143番地1	鉄骨造平屋建ALC板 付属設備(送受信塔)鉄骨 造16.5m	28.73	100.00
鬼 林 山 無 線 中 継 所	日野郡日南町神福字塩滝山2069番地	鉄骨造平屋	20.00	93.10
一 息 坂 無 線 中 継 所	西伯郡大山町羽田井字大谷1420番地	鉄骨造平屋建 付属設備(送受信塔)鉄骨 造17.3m	20.00	107.75

(2) 消防吏員待機宿舎概要

名 称	所 在 地	構 造	建物延面積(㎡)	敷地面積(㎡)
生山北寮(独身寮) 消防待機宿舎北寮	日野郡日南町生山349番地	鉄筋コンクリート造平屋建	107.00	365.14

(3) 消防車両等配置数

車 種 別 推 移			総 数	消 防 ポ ン プ 自 動 車	水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	化 学 消 防 自 動 車	は し ご 付 消 防 自 動 車	救 助 工 作 車	高 発 泡 車	救 急 自 動 車 (2B)	救 急 自 動 車 (高規格)	指 揮 車	査 察 ・ 広 報 車	作 業 車	消 防 艇	電 源 ・ 照 明 車	資 機 材 搬 送 車	そ の 他 車 両
平 10.	4.	1	80	21	4	3	3	3		11	3	5	22	1		1	1	2
平 11.	4.	1	80	21	4	3	3	3		10	4	5	21	1		1	1	3
平 12.	4.	1	81	21	4	3	3	3		9	5	5	22	1		1	1	3
平 13.	4.	1	81	21	4	3	3	3		9	5	5	21	1		1	1	4
平 14.	4.	1	81	21	4	3	3	3		9	5	5	21	1		1	1	4
平 15.	4.	1	81	21	4	3	3	3		9	5	5	21	1		1	1	4
平 16.	4.	1	81	21	4	3	3	3		7	7	5	21	1		1	1	4
平 17.	4.	1	81	21	4	3	3	3		5	9	5	21	1		1	1	4
平 18.	4.	1	81	21	5	3	3	3		3	11	5	21	1		1	1	4
平 19.	4.	1	82	20	6	3	3	3		2	12	5	21	1		1	1	4
平 20.	4.	1	78	18	6	3	3	3		1	13	5	21	1			1	3
平 21.	4.	1	78	18	6	3	3	3			14	5	21	1			1	3
平 22.	4.	1	78	18	6	3	3	3			14	5	21	1			1	3
平 23.	4.	1	78	18	6	3	3	3			14	5	21	1			1	3
平 24.	4.	1	77	18	6	3	3	3			14	5	20	1			1	3
平 25.	4.	1	80	18	6	3	3	3			14	5	22	1			1	4
平 26.	4.	1	80	18	6	3	3	3			14	5	21	1			1	4
平 27.	4.	1	79	18	6	3	3	3			14	5	19	1			1	6
平 28.	4.	1	79	18	6	3	3	3			14	5	19	1			1	6
平 29.	4.	1	79	19	5	3	3	3			14	5	19	1			1	6
平 30.	4.	1	79	19	5	3	3	3			14	5	19	1			1	6
平 31.	4.	1	79	19	5	3	3	3			14	5	19	1			1	6
令 2.	4.	1	78	18	4	3	3	3			14	5	19	1			1	7
令 3.	4.	1	78	18	4	3	3	3			14	5	19	1			1	7
令 4.	4.	1	78	18	4	3	3	3			14	5	19	1			1	7
令 5.	4.	1	78	18	4	3	3	3			14	5	19	1			1	7
令 6.	4.	1	78	18	4	3	3	3			14	5	19	1			1	7
令 7.	4.	1	78	18	4	3	3	3			14	5	19	1			1	7
令 8.	4.	1	79	18	4	3	3	3			15	5	19	1			1	7

令和 8 ・ 4 ・ 1	消 防 局		16								3	1	6	1				5
	米消 防 子署	本 署	14	4		1	1				2	1	4				1	
		皆生出張所	6	1	1		1	1			1		1					
		南部出張所	4	2							1		1					
		伯耆出張所	4	1	1						1		1					
	境消 防 港署	本 署	12	2		2	1	1			2	1	1					2
		弓浜出張所	4	2							1		1					
	大消 防 山署	本 署	5	1	1						1	1	1					
		中山出張所	4	2							1		1					
	江消 防 府署	本 署	6	1	1			1			1	1	1					
		生山出張所	4	2							1		1					
	計		79	18	4	3	3	3	0	0	15	5	19	1	0	0	1	7

(4) 消防車両概況

所属	車 号	登 録 番 号	車 名	機 装	購入年月日	摘 要
消防局	局 救 急 1 号 車	鳥取800さ6647	トヨタ	高規格車 4WD	平成26. 3. 5	消防庁補助
	局 救 急 2 号 車	鳥取800さ6938	トヨタ	高規格車 4WD	平成27. 2. 26	消防庁補助
	局 救 急 3 号 車	鳥取800さ5708	トヨタ	高規格車 4WD	平成23. 2. 26	消防庁補助
	局 指 揮 車	鳥取800さ8814	トヨタ	支援車Ⅳ型	令和 3. 3. 5	消防庁補助
	機 動 連 絡 車	鳥取800さ6630	トヨタ		平成26. 2. 20	総務省より無償使用
	広 報 1 号 車	鳥取400せ 782	トヨタ		平成26. 7. 3	
	広 報 3 号 車	鳥取500ね 325	ニッサン		平成18. 11. 24	寄贈 米子危保協会
	局 査 察 1 号 車	鳥取580に4755	ニッサン		平成27. 6. 30	
	局 査 察 2 号 車	鳥取480け9376	三菱		平成28. 9. 23	
	局 査 察 3 号 車	鳥取480こ3713	ダイハツ		平成29. 6. 5	
	局 査 察 5 号 車	鳥取580た3212	三菱		平成24. 7. 23	
	支 援 車	鳥取800は 512	日野	支援車Ⅰ型	平成23. 1. 12	総務省より無償使用
	人 員 輸 送 車	鳥取800さ6302	トヨタ	マイクロバス	平成25. 3. 11	総務省より無償使用
	連 絡 車	鳥取300む3606	三菱		令和 7. 9. 16	
	作 業 車	鳥取800さ5938	いすゞ	積載 2t	平成23. 12. 21	
	重 機 搬 送 車	鳥取800さ 934	三菱ふそう	5t重機	令和 2. 3. 26	総務省より無償使用
米子消防署	1 号 車	鳥取800さ6632	日野	CD－Ⅰ・A2	平成26. 2. 21	消防庁補助
	2 号 車	鳥取800さ6934	日野	CD－Ⅰ・A2	平成27. 2. 25	消防庁補助
	3 号 車	鳥取800さ7630	日野	CD－Ⅰ・A2	平成29. 3. 15	消防庁補助
	4 号 車	鳥取800さ7910	日野	CD－Ⅰ・A2	平成30. 1. 30	消防庁補助
	化 学 車	鳥取800は 387	日野	Ⅱ型・A2	平成19. 12. 14	
	梯 子 車	鳥取800は 110	ニッサンD	40m級	平成19. 2. 23	消防庁補助
	救 急 1 号 車	鳥取800す258	トヨタ	高規格車 4WD	令和 8. 3. 16	消防庁補助
	救 急 2 号 車	鳥取800さ8546	トヨタ	高規格車 4WD	令和 2. 3. 19	消防庁補助
	指 揮 車	鳥取800さ8814	トヨタ		令和 6. 3. 25	
	資 材 搬 送 車	鳥取800さ8247	いすゞ	積載 2t	平成31. 3. 27	
	米子広報1号車	鳥取800さ9672	ニッサン		令和 6. 3. 28	
	米子広報2号車	鳥取400せ5355	ニッサン		平成30. 8. 28	
	米子査察1号車	鳥取580に4702	ニッサン		平成27. 6. 30	
	米子査察2号車	鳥取580に5477	三菱		平成27. 7. 10	寄贈 上田商事
皆生出張所	1 号 車	鳥取800さ5365	日野	CD－Ⅰ・A2	平成22. 2. 15	
	タ ン ク 車	鳥取800は 337	日野	Ⅰ－B・A2	平成19. 2. 23	
	救 助 工 作 車	鳥取800は 641	日野	Ⅲ型	平成26. 3. 10	消防庁補助
	屈 折 梯 子 車	鳥取800は 556	日野	15m級	平成24. 3. 21	消防庁補助
	救 急 車	鳥取800さ7305	トヨタ	高規格車 4WD	平成28. 2. 26	消防庁補助
	広 報 車	鳥取800さ9673	ニッサン		令和 6. 3. 28	
南部出張所	1 号 車	鳥取800さ5955	日野	CD－Ⅰ・A2	平成23. 12. 19	
	2 号 車	鳥取800さ7299	日野	CD－Ⅰ・A2	平成28. 2. 29	消防庁補助
	救 急 車	鳥取800さ9916	トヨタ	高規格車 4WD	令和 7. 3. 17	消防庁補助
	広 報 車	鳥取880あ 870	ニッサン		平成29. 12. 21	

所属	車 号	登 録 番 号	車 名	機 装	購入年月日	摘 要
伯耆出張所	タンク車	鳥取800さ975	日野	I-B・A2	令和 3. 1. 15	消防庁補助
	1 号 車	鳥取800さ7629	日野	CD-I・A2	平成29. 3. 15	消防庁補助
	救 急 車	鳥取800す206	トヨタ	高規格車 4WD	令和 8. 1. 16	
	広 報 車	鳥取880あ 804	ニッサン		平成29. 1. 30	
境 港 消防署	1 号 車	鳥取800さ5956	日野	CD-I・A2	平成23. 12. 19	
	2 号 車	鳥取800さ6234	日野	CD-I・A2	平成24. 12. 17	
	救 助 工 作 車	鳥取800は1196	日野	II型	令和 8. 3. 3	消防庁補助
	ボートトレーラ	鳥取800る 147	シーマリン		平成27. 1. 22	
	化 学 1 号 車	鳥取800は1195	日野	II型・A2	令和 8. 3. 13	防衛省補助
	化 学 2 号 車	鳥取800は 584	日野	II型・A2	平成25. 2. 13	防衛省補助
	梯 子 車	鳥取800は1126	日野	30m級	令和 6. 2. 15	防衛省補助
	救 急 1 号 車	鳥取800さ8823	トヨタ	高規格車 4WD	令和 3. 3. 11	防衛省補助
	救 急 2 号 車	鳥取800さ8244	トヨタ	高規格車 4WD	平成31. 3. 20	防衛省補助
	指 揮 車	鳥取800さ9004	トヨタ		令和 3. 11. 24	
	境 港 広 報 車	鳥取880あ 95	ダイハツ		平成18. 8. 7	
	水難救助支援車	鳥取800さ6951	トヨタ		平成27. 3. 6	
弓浜出張所	1 号 車	鳥取800さ5713	日野	CD-I・A2	平成23. 2. 25	消防庁補助
	2 号 車	鳥取800さ7635	日野	CD-I・A2	平成29. 3. 13	防衛省補助
	救 急 車	鳥取800さ7307	トヨタ	高規格車 4WD	平成28. 2. 26	防衛省補助
	広 報 車	鳥取880あ 871	ニッサン		平成29. 12. 21	
大山消防署	1 号 車	鳥取800さ6233	日野	CD-I・A2	平成24. 12. 17	
	タンク車	鳥取800は 292	日野	I-B・A2	平成18. 2. 28	消防庁補助
	救 急 車	鳥取800さ7601	トヨタ	高規格車 4WD	平成29. 2. 28	
	指 揮 車	鳥取800さ9410	トヨタ		令和 5. 3. 1	
中山出張所	広 報 車	鳥取800さ9674	ニッサン		令和 6. 3. 28	
	1 号 車	鳥取800さ5714	日野	CD-I・A2	平成23. 2. 25	消防庁補助
	2 号 車	鳥取800さ7909	日野	CD-I・A2	平成30. 1. 30	消防庁補助
	救 急 車	鳥取800さ9405	トヨタ	高規格車 4WD	令和 5. 2. 28	
江府消防署	広 報 車	鳥取880あ1299	トヨタ		令和 7. 1. 31	
	1 号 車	鳥取800さ6232	日野	CD-I・A2	平成24. 12. 17	
	タンク車	鳥取800は1011	日野		令和 3. 11. 19	
	救 助 工 作 車	鳥取800さ2568	日野	II型	平成15. 3. 20	消防庁補助
生山出張所	救 急 車	鳥取800さ8824	トヨタ	高規格車 4WD	令和 3. 3. 19	消防庁補助
	指 揮 車	鳥取800さ9409	トヨタ		令和 5. 3. 1	
	江 府 広 報 車	鳥取800さ6282	ニッサン		平成25. 2. 27	
	1 号 車	鳥取800さ7300	日野	CD-I・A2	平成28. 2. 29	
生山出張所	2 号 車	鳥取800さ5044	日野	CD-I・A2	平成21. 1. 28	消防庁補助
	救 急 車	鳥取800さ9104	トヨタ	高規格車 4WD	令和 4. 3. 15	消防庁補助
	広 報 車	鳥取880あ1300	トヨタ		令和 7. 1. 31	

消防ポンプ自動車18 タンク車4 救助工作車3 化学車3 梯子車3

救急車15 指揮車5 広報車13 査察車6 作業車1 人員輸送車1

支援車1 資機材搬送車1 連絡車1 ボートトレーラー1 機動連絡車1 水難救助支援車1 重機搬送車1

(5) 救急・救助

(5-1) 救急隊配置場所

配 置 場 所	車 両 区 分	隊 数
米 子 消 防 署	高 規 格 救 急 車	2 隊
皆 生 出 張 所	高 規 格 救 急 車	1 隊
南 部 出 張 所	高 規 格 救 急 車	1 隊
伯 耆 出 張 所	高 規 格 救 急 車	1 隊
境 港 消 防 署	高 規 格 救 急 車	2 隊
弓 浜 出 張 所	高 規 格 救 急 車	1 隊
大 山 消 防 署	高 規 格 救 急 車	1 隊
中 山 出 張 所	高 規 格 救 急 車	1 隊
江 府 消 防 署	高 規 格 救 急 車	1 隊
生 山 出 張 所	高 規 格 救 急 車	1 隊

(5-2) 高規格救急車積載一覧

積 載 器 具 名		数 量	積 載 器 具 名		数 量
心 電 図 伝 送 装 置		1 式	感染防止用資材セット		3 式
半自動式除細動器		1 式	舌 圧 子		3
ベッドサイドモニター		1 式	舌 鉗 子		1
自動式人工呼吸器		1 式	マギール鉗子	大・小	各 1
心 電 計		1 式	ネックカラー	大・中・小	各 1
全身固定用具		1 式	万能ハサミ		2
在宅医療セット		1 式	フェイスマスク	大・中・小	各 2
頭 部 固 定 具		1 式	輸 液 セ ッ ト	三方活栓付チューブ	4
新生児用資器材		1 式	乳酸リンゲル液		5
携 帯 電 話		1	留 置 針	18・20・22	適 量
携 帯 無 線 機		1	アドレナリン		5
電 動 吸 引 器		1 式	経口エアウェイ	大・中・小・極小	各 1
陰 圧 式 固 定 具		1 式	経鼻エアウェイ	6・7・8・9	適 量
バックボード		1 式	鼻 カ ニ ュ ー レ		1
バッグマスクセット		1 式	ク リ ー ン ネ ッ ト		1
喉 頭 鏡 セ ッ ト		1 式	洗 面 器		1
メインストレッチャー		1	尿 器		1
スクープストレッチャー		1	開 口 器		1
サブストレッチャー		1	吸 引 カ テ ー テ ル		適 量
ユニオン担架		1	医療廃棄物回収容器		1
布 担 架		1	洗 眼 器		1
酸素ボンベ	10リットル	2	気管内挿管チューブ	4・5・7・8・9	適 量
減 圧 弁		2	気管切開カニューレ		適 量
酸素加湿流量計	二連	1	リ マ ス ク		適 量
血 圧 計	アナロイド・ハンド式	各 1	ピ ン セ ッ ト		1
聴 診 器		3	ス タ イ レ ッ ト		4
温 ・ 冷 蔵 庫		1	プラスチックグローブ		適 量
救 命 浮 環		1	手 術 用 手 袋		適 量
ガラス破壊器具		1	デ ィ ス ポ 電 極	心電計用	適 量
万 能 斧		1	三 角 布		適 量
レスキューシザー		1	不 織 布 ガ ー ゼ		適 量
バ ー ル		1	滅 菌 ガ ー ゼ		適 量
サーチライト		4	各 種 テ ー プ		適 量
水中めがね		2	紙 マ ス ク		適 量
トリアージタグ		適 量	消 毒 綿		適 量
毛 布		2	梯 状 副 子	大・中・小	各 1
食道閉鎖式エアウェイ		適 量	砂 の う		3
酸素マスク		適 量	固 定 用 ベ ル ト		2
救急シート		1	シ リ ン ジ	10・20・30mm	各 1
雨 覆 い シ ー ト		1	冷 却 パ ッ ク		2
駆 血 帯		3	患者搬送記録・搬送証		適 量
止 血 帯	ケース入	1	救 命 処 置 記 録 票		適 量
体 温 計		1	住 宅 地 図		1 式
円 座 ま く ら		1	ブ ド ウ 糖		4
ま く ら		1	血 糖 測 定 器		1 式
自動式心マッサージ器		1 式			

(5-3) 救助隊配置場所

配 置 場 所	隊 区 分	車 両 区 分
米 子 消 防 署	救 助 隊	化学消防自動車(Ⅱ型)
境 港 消 防 署	救 助 隊 兼 水 難 救 助 隊	救 助 工 作 車 (Ⅱ 型)
大 山 消 防 署	救 助 隊 兼 特 殊 災 害 隊	水 槽 付 消 防 自 動 車
江 府 消 防 署	救 助 隊	救 助 工 作 車 (Ⅱ 型)
皆 生 出 張 所	高 度 救 助 隊	救 助 工 作 車 (Ⅲ 型)

(5-4) 高度救助用資機材一覧

機 材 名	規 格
画 像 探 索 機 I 型	オリンパス IV8675L1-SV90セット(一式)
画 像 探 索 機 II 型	オリンパスIPLEX-UltraLife IV8635U(一式)
地 中 音 響 探 知 機	サウンドトレーサーAK-6(一式)
熱 画 像 直 視 装 置	エボリューション6000(MSA)(一式)
夜 間 用 暗 視 装 置	ナイトスコープ エクスノクス ×650(一式)
地 震 警 報 器	サクラ Qアラート マークⅡ(一式)

(5-5) 救助工作車(Ⅲ型)積載一覧

積 載 器 具 名			数 量	積 載 器 具 名			数 量
かぎ付き梯子	3.1m		1	耐電ヘルメット			2
三連梯子	8.7m		1	耐電長靴			2
三連梯子用キット	クレーン、水平2法	1 式		ハイブリット対応セット			1 式
救命索発射銃	レステックエアー	1 式		安全帯			1
救助用縛帯	クイックストラップ	1		信号機付投光器			1 式
救助用縛帯	ピタゴール	1		ランタン	大、小		2
救助用縛帯	エバックハーネス	1		ケミカルライト			適量
救助用縛帯	レスキュースリング	1		携帯拡声器			2
検索用バッグ	ザイル、簡易縛帯	1 式		携帯GPS	ガーミン		1
バスケット担架		1		双眼鏡	測距計		1
スケッドストレッチャー		1		双眼鏡	双眼鏡		1
バックボード一式		1		点滅棒			3
ナイロンロープ	小綱、巻ロープ	適量		カラーコーン			5
カラビナ		適量		消火器			1
滑車	ワイドブーリーTR-300	適量		デジカメ			1
都市型救助資機材	ザイル、ギア他	1 式		張力計	ダイナホール5t型		1
油圧ジャッキ	ブランジャーラム	1 式		救急バック			1 式
電動油圧スプレッダー	ルーカス	1 式		要救助者用ヘルメット			2
可搬ウインチ	チルホールT35	1 式		要救助者用毛布			2
ワイヤーロープ	1.6m、4m、5m	5		プライバシー保護シート			1
Vスリング	3m、5m	9		毛布			適量
救助用三脚	テラダプター	1 式		発電機			1
マット型空気ジャッキ	レスキューテック23t、58t、132t	1 式		予備燃料	混合ガソリン		適量
マット型空気ジャッキ	リフトバック1t、3t、5t	1 式		予備電池			適量
大型油圧スプレッダー	ホルマトロ	1 式		鳶口			1
電動油圧切断機	ルーカスカッター	1		レスキューシザー			1
エンジンカッター		1		グラスマスター			2
ガス溶断機	ペトロカッター	1		バー			1
チェーンソー		1		アングルカッター			2
レシプロソー	ヒルティ	1 式		工具セット			2 式
鉄筋カッター	オグラ	1 式		絶縁工具セット			1 式
ペダルカッター	ホルマトロ	1 式		パイプレンチ			1
空気鋸	タイガーエアソー	1 式		検電器			1
大型油圧切断機	ホルマトロカッター	1 式		ステップチョーク			2 式
空気切断機	パクハンマー	1 式		レスキューブロック			適量
万能斧	レスキューアックス	1		あて木			適量
大斧		1		エアーバックセーフ	運転席用		1
大ハンマー	防爆ハンマー	1		指揮板			1
コンクリート破壊器具	レッドワン	1 式		サルベージシート			2
ハンマードリル	ヒルティ	1 式		トランスポートバック			2
可燃ガス測定器	GX8000	1		水難救助バック	救命胴衣		1 式
可燃ガス測定器	コスモス	1		吸着マット			適量
熱画像直視装置	エボリューション	1		ACライト			適量
空気呼吸器	M30	2		レーザー距離計			1
予備ボンベ	4.7ℓ	4		デッキブラシ			2
簡易呼吸器	パラート5530	2		のこぎり			2
送排風機	ダクト10m	1 式		なた			4
耐電衣(上下)		2		鎌			1
MTターボ		1		おたふく			1
モーションスカウト		5		だるまジャッキ			1
夜間用暗視装置	ナイトスコープ	1		レスキューブランケット			1
グライNDER		1					

(6) 通信施設

指令施設

指令台	3式	指令用ディスプレイ 地図用ディスプレイ 支援情報ディスプレイを装備
指揮台	1式	
無線統制台	1式	
署所端末装置	11式	
各種表示盤	1式	支援情報表示盤・車両運用表示盤・多目的情報表示装置

有線通信設備

119番専用回線	27回線	
固定電話回線	18回線	IP電話・FAX119・転送
携帯電話回線	4回線	
ヘルプネット回線	2回線	
一般加入電話	29回線	
火災情報案内電話	1回線	
専用線	署所端末装置専用線	10回線
	防災関係機関専用線	1回線
指令用光回線	1式	全消防拠点

無線通信設備

無線回線制御装置			1式	デジタル無線設備用
固定局	VSAT地球局		1局	鳥取県地域衛星通信ネットワーク
	多重	消防局	1局	マイクロ7.5G(デジタル併用)
		古峠山局	1局	マイクロ7.5G(デジタル併用)
	簡易多重	鬼林山局	1局	簡易マイクロ(FWA18G)
		一息坂局	1局	簡易マイクロ(FWA18G)
		生山局	1局	簡易マイクロ(FWA18G)
		中山局	1局	簡易マイクロ(FWA18G)
	基地局	デジタル	古峠山局	1局
鬼林山局			1局	
一息坂局			1局	
陸上移動局	車載型		68局	デジタル5W
	携帯型		34局	デジタル1W
	可搬型		5局	デュアル5W/10W
	卓上型		11局	デジタル5W

通信系統図

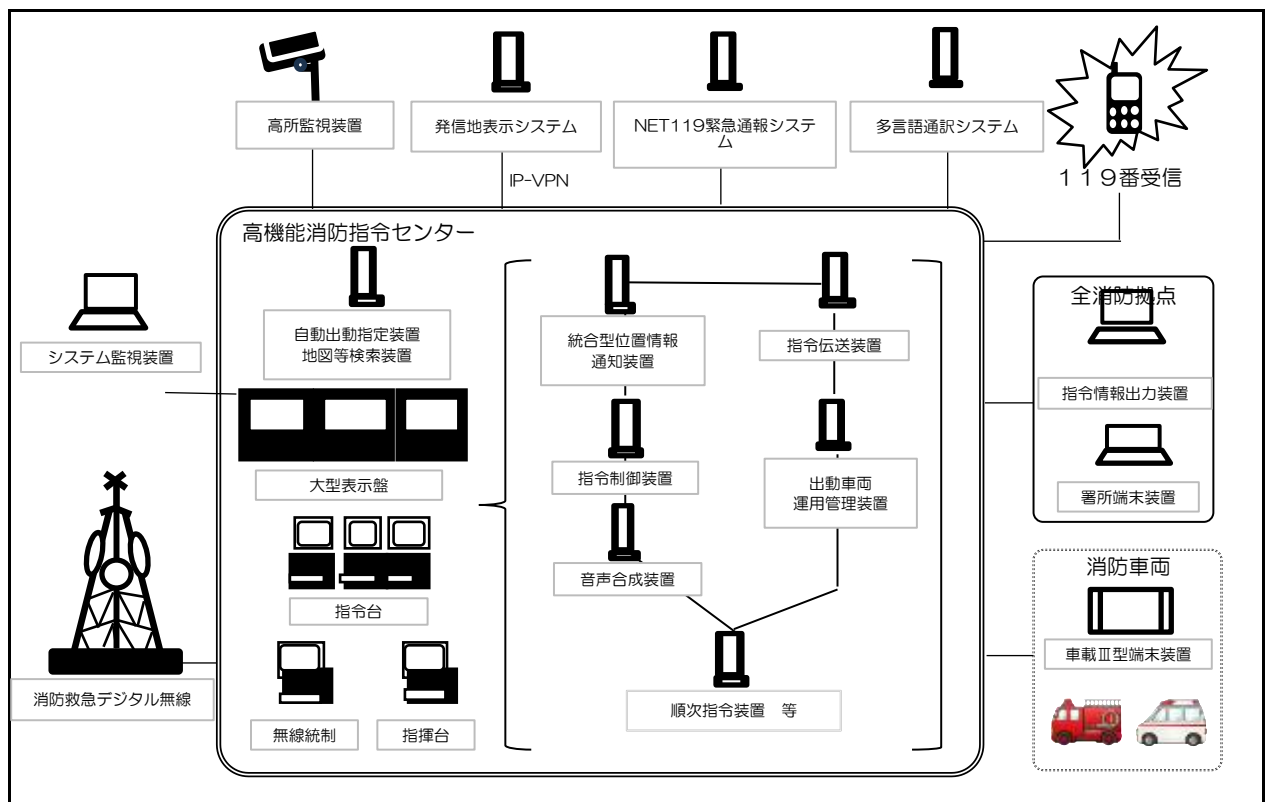
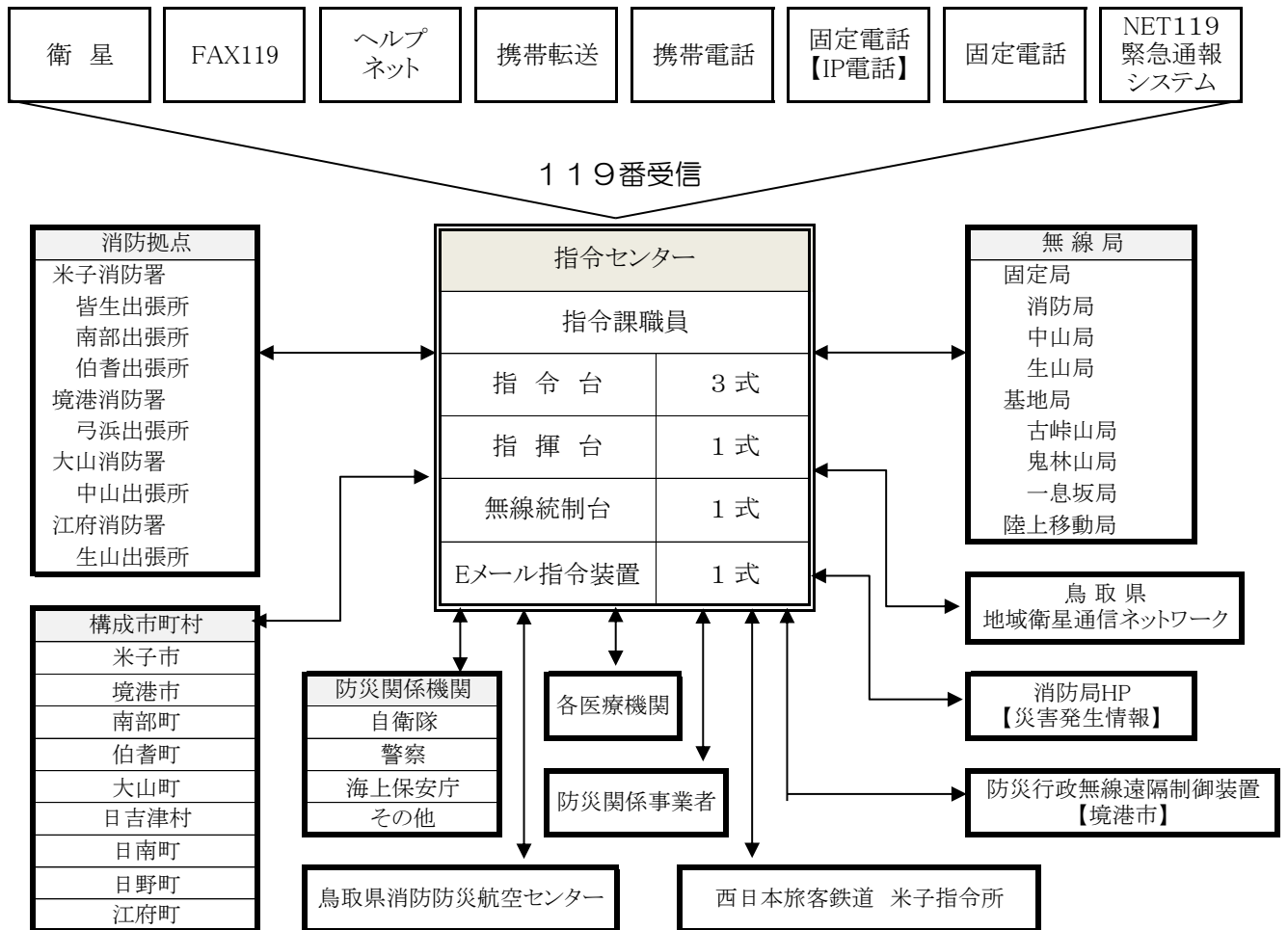


図 指令センター構成イメージ

防 予



予 防

(1) 防火対象物の現況

令和8年3月31日現在

種 別	項 別		(1)		(2)				(3)		(4)	(5)		(6)				(7)	(8)
	イ	ロ	イ	ロ	ハ	ニ	イ	ロ	イ	ロ		イ	ロ	ハ	ニ				
対 象 物 種 別	劇場、映画館、演芸場又は観覧場	公会堂又は集会場	キャバレー、カフェー、ナイトクラブ等	遊技場又はダンスホール	性風俗関連特殊営業店舗	カラオケボックス等	待合、料理店その他これらに類するもの	飲食店	百貨店、マーケット、店舗又は展示場	旅館、ホテル、宿泊所その他これらに類するもの	寄宿舎、下宿又は共同住宅	病院、診療所、又は助産所	老人短期入所施設、養護老人ホーム	老人デイサービスセンター等	幼稚園、特別支援学校	小中学校、高校、大学、各種学校等	図書館、博物館、美術館等		
延べ面積150㎡以上のもの	17	130		23		7	1	226	428	175	1,974	212	136	280	16	333	26		
防火管理者を選任すべきもの	16	118		22		7	1	198	297	98	167	53	107	137	11	89	13		

種 別	項 別		(9)		(10)	(11)	(12)		(13)		(14)	(15)	(16)		16 の 2	16 の 3	(17)	(18)	
	イ	ロ					イ	ロ	イ	ロ			イ	ロ					
対 象 物 種 別	蒸気浴場、熱気浴場等	イに掲げる以外の公衆浴場	停車場、船舶又は航空機の発着場	神社、寺院、教会等	工場又は作業場	映画スタジオ又はテレビスタジオ	自動車車庫又は駐車場	飛行機又は回転翼航空機の格納庫	倉庫	前項号に該当しない事業所	特定防火対象物の存する複合用途防火対象物	イに掲げる以外の複合用途防火対象物	地下街	準地下街	重要文化財・重要美術品等の建築物	延長五十メートル以上のアーケード	合 計		
延べ面積150㎡以上のもの	13	6	5	170	1,118		145	9	971	1,369	607	179			45	9	8,630		
防火管理者を選任すべきもの	3	3	1	67	84				13	202	307	25			1		2,040		

※(17)、(18)は150㎡未満も含む

(2) 各種届出事務処理の状況

令和7年4月1日～令和8年3月31日

項 目	消 防 計 画 作 成 (変 更) 届 出 書	防 火 管 理 者 選 任 (解 任) 届 出 書	防 火 対 象 物 点 検 結 果 報 告 書	防 火 対 象 物 点 検 報 告 特 例 認 定 申 請 書	防 災 管 理 点 検 結 果 報 告 書	煙 火 打 上 げ 仕 掛 け 届 出 書	圧 縮 ア セ チ レ ン ガ ス 等 の 貯 蔵 又 は 取 扱 開 始 届 出 書	消 防 用 設 備 等 点 検 結 果 報 告 書	炉 ・ 厨 房 ・ ボ イ ラ ー 等 設 置 届	変 ・ 発 ・ 蓄 電 池 等 設 置 届	少 量 危 険 物 ・ 指 定 可 燃 物 等 の 貯 蔵 又 は 取 扱 開 始 届 出 書	防 火 対 象 物 使 用 開 始 届
受理数	383	339	255	14	9	21	83	7,037	27	77	87	163

(3) 防火対象物の用途別査察状況

令和7年4月1日～令和8年3月31日

査察件数

1	イ	劇 場、映 画 館、演 芸 場 又 は 観 覧 場	2
	ロ	公 会 堂 又 は 集 会 場	18
2	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブ等	0
	ロ	遊 技 場 又 は ダ ン ス ホ ー ル	4
	ハ	性 風 俗 関 連 特 殊 営 業 店 舗	0
	ニ	カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等	0
3	イ	待合、料理店その他これらに類するもの	0
	ロ	飲 食 店	25
4		百貨店、マーケット、店舗又は展示場	42
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所その他これらに類するもの	32
	ロ	寄 宿 舎、下 宿 又 は 共 同 住 宅	7
6	イ	病院、診療所、又は助産所	16
	ロ	老人短期入所施設、養護老人ホーム	7
	ハ	老人ディサービスセンター等	55
	ニ	幼 稚 園、特 別 支 援 学 校	0
7		小中学校、高校、大学、各種学校等	33
8		図 書 館、博 物 館、美 術 館 等	1
9	イ	蒸 気 浴 場、熱 気 浴 場 等	0
	ロ	イ に 掲 げ る 以 外 の 公 衆 浴 場	2
10		停車場、船舶又は航空機の発着場	0
11		神 社、寺 院、教 会 等	12
12	イ	工 場 又 は 作 業 場	76
13	イ	自 動 車 車 庫 又 は 駐 車 場	7
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫	0
14		倉 庫	56
15		前 項 号 に 該 当 し な い 事 業 所	112
16	イ	特定防火対象物の存する複合用途防火対象物	47
	ロ	イ に 掲 げ る 以 外 の 複 合 用 途 防 火 対 象 物	5
17		重要文化財・重要美術品等の建築物	36
18		延長五十メートル以上のアーケード	0
合計			595

(4) 建築同意の用途別事務処理状況

令和7年4月1日～令和8年3月31日

区 分			合 計	新築	増築	その他
1	イ	劇 場 ・ 映 画 館 等				
	ロ	公 会 堂 又 は 集 会 場				
2	イ	キ ャ バ レ ー 等				
	ロ	遊 技 場 等				
	ハ	性 風 俗 関 連 特 殊 営 業 店 舗				
	ニ	カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等				
3	イ	待 合 ・ 料 理 店 等				
	ロ	飲 食 店	8	6	1	1
4		百 貨 店 ・ 店 舗 等	12	11	1	
5	イ	旅 館 ・ ホ テ ル				
	ロ	共 同 住 宅 ・ 寄 宿 舎	14	14		
6	イ	病 院 ・ 診 療 所 等	10	8	1	1
	ロ	老 人 短 期 入 所 施 設 等	5	2	3	
	ハ	老 人 デ ィ サ ー ビ ス 等	3	1	2	
	ニ	幼 稚 園 ・ 養 護 学 校 等				
7		学 校	4		4	
8		図 書 館 ・ 美 術 館	1	1		
9	イ	蒸 気 ・ 熱 気 浴 場 等				
	ロ	イ 以 外 の 公 衆 浴 場				
10		車 両 の 停 車 場 等				
11		神 社 ・ 寺 院 等				
12	イ	工 場 ・ 作 業 場	19	8	9	2
	ロ	テ レ ビ ス タ ジ オ 等				
13	イ	車 庫 ・ 駐 車 場	9	4	5	
	ロ	飛 行 機 の 格 納 庫	1		1	
14		倉 庫	28	17	11	
15		前 各 号 に 該 当 し な い 事 業 所	57	42	11	4
16	イ	特 別 防 火 対 象 物 が 存 す る 複 合 用 途 防 火 対 象 物	7	5	1	1
	ロ	イ 以 外 の 複 合 用 途 防 火 対 象 物	2			2
17		重 要 文 化 財				
18		50m 以 上 の ア ー ケード				
		対 象 物 外				
一 般 住 宅		専 用 住 宅	29	29		
		長 屋 住 宅	34	34		
合 計			243	182	50	11

(5) 危険物製造所等の地区別施設件数

令和8年3月31日現在

施設 市町村名	合 計	製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所			
			屋 内	屋 外 タン ク	屋 内 タン ク	地 下 タン ク	簡 易 タン ク	移 動 タン ク	屋 外	給 油	販 売	移 送	一 般
米 子 市	382	1	53	22	10	92		59	7	78	1		59
境 港 市	369	1	26	71	3	36		108	42	37		1	44
日 吉 津 村	10		2			1			1	6			
大 山 町	106		5	5	5	49		12	3	16			11
南 部 町	38		7	1	1	10		8		6			5
伯 耆 町	68		3	4	3	34		2	1	13			8
日 南 町	32			3	1	10		6		8			4
日 野 町	21		2	2	1	9				4			3
江 府 町	24		1			7		1		8			7
合 計	1,050	2	99	108	24	248		196	54	176	1	1	141

(6) 危険物製造所等の事務処理件数

令和7年4月1日～令和8年3月31日

施設 区 分	合 計	製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所			
			屋 内	屋 外 タン ク	屋 内 タン ク	地 下 タン ク	簡 易 タン ク	移 動 タン ク	屋 外	給 油	販 売	移 送	一 般
設 置 許 可	12			1				10		1			
変 更 許 可	62	2	1	23		5		2		21			8
設 置 完 成 検 査	18		1	1		2		9		1			4
変 更 完 成 検 査	62	2		23		5		2		22			8
仮 使 用 承 認	30			8		3				15			4
完 成 検 査 前 検 査	6												
仮 貯 蔵 ・ 仮 取 扱	88												
品 名 ・ 数 量 等 変 更 届	3												
譲 渡 引 渡 届	11												
設 置 者 等 変 更 届	59												
廃 止 届	35												
保安監督者選解任届	61												
使用休止再開届	4												

(7) 危険物施設査察状況

令和7年4月1日～令和8年3月31日

製造所	貯蔵所							取扱所				計
	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	給油取扱所	販売取扱所	移送取扱所	一般取扱所	
	4	3	1	30		30		37			11	116

(8) 火薬類取締法関係

令和7年4月1日～令和8年3月31日

	区 分	件 数
許可	譲渡許可	2
	譲受許可	
	譲受・消費許可	15
	煙火消費許可	49
	合 計	66

	区 分		件 数
立入検査	消 費 場 所	採 石	5
		土 木	5
		そ の 他	4
	煙 火 消 費 許 可		49
	合 計		63

(9) 液化石油ガス法関係

令和7年4月1日～令和8年3月31日

処 理 内 容	件 数
液化石油ガス設備工事届受理	15

火災概況



I 火災概況

1 火災件数と死傷者数

令和 7 年は **103 件**で、前年と比較し 29 件増加しました。103 件のうち、建物火災が 41 件（39.8%）を占め、7 割が住宅から発生しています。

この 10 年間の火災件数をみると、平均して 100 件前後で推移していますが、令和 7 年の火災件数は、前年と比較し大幅な増加を示しました。

火災による死者は 6 人で、負傷者は 17 人でした。

死者 6 人のうち、4 人が 65 歳以上の高齢者で 66.7%を占めています。

図 I - 1 火災件数 (件)

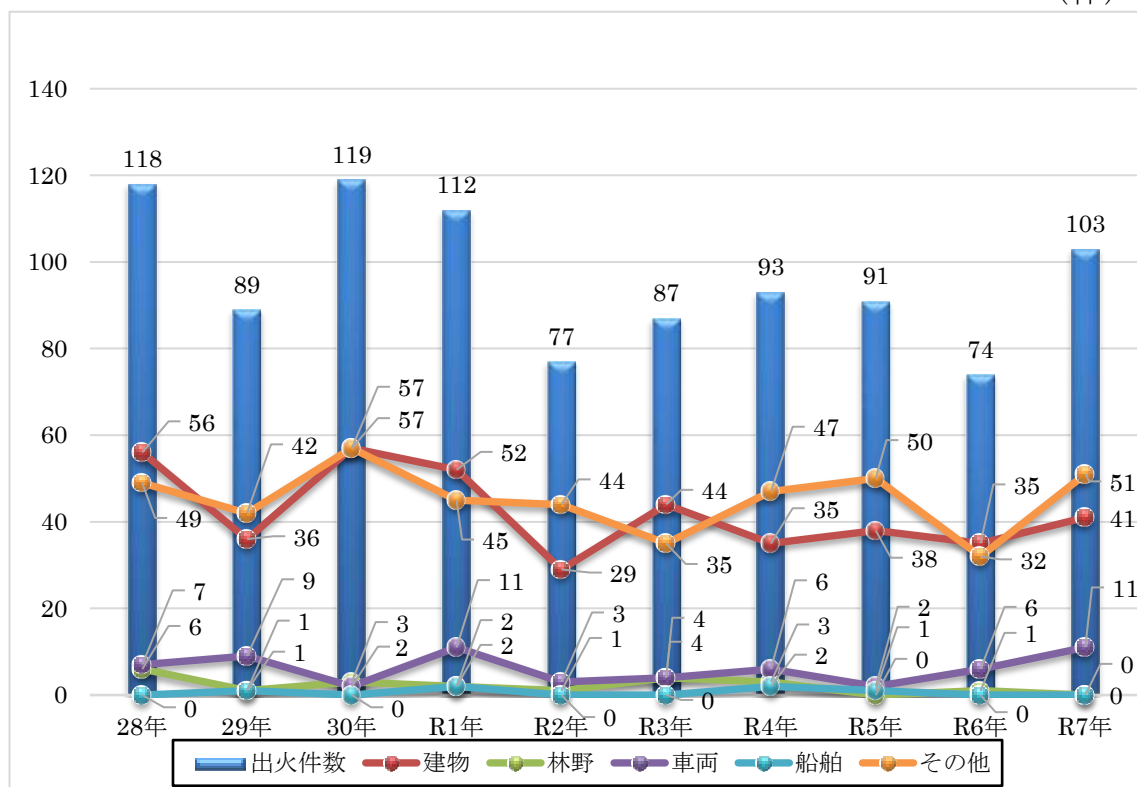
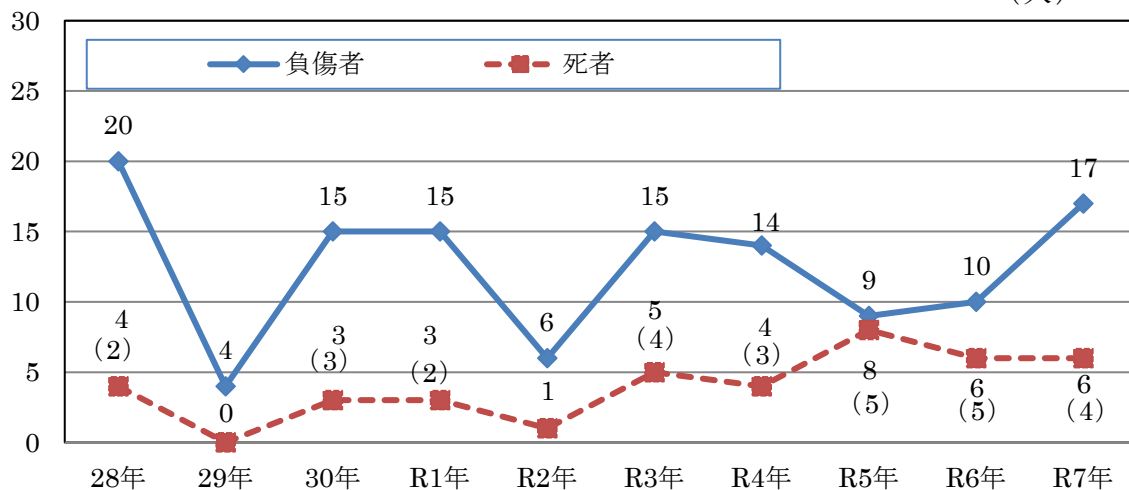


図 I - 2 死傷者数 (人)



※ () は、65 歳以上の高齢者

2 出火状況

令和 7 年中の火災件数の構成比率をみると、その他火災が 49.5%で最も高い比率を占め、その次に建物火災が 39.8%となっています。

火災種別ごとの出火件数を月別でみると、建物火災は 41 件で 10 月、11 月に多く発生し、その他火災は 51 件で 7 月だけで 13 件発生しています。

図 I - 3 火災種別件数

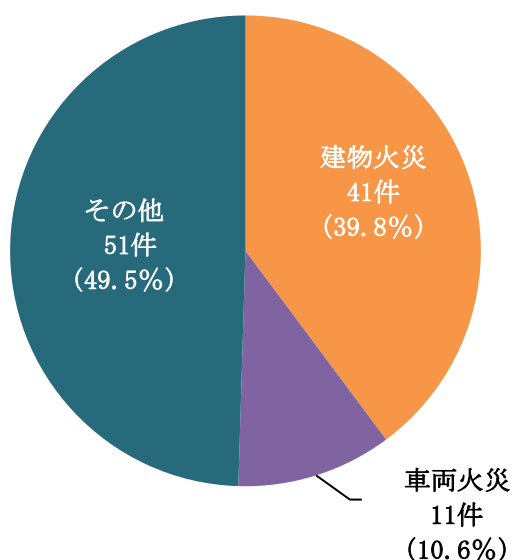
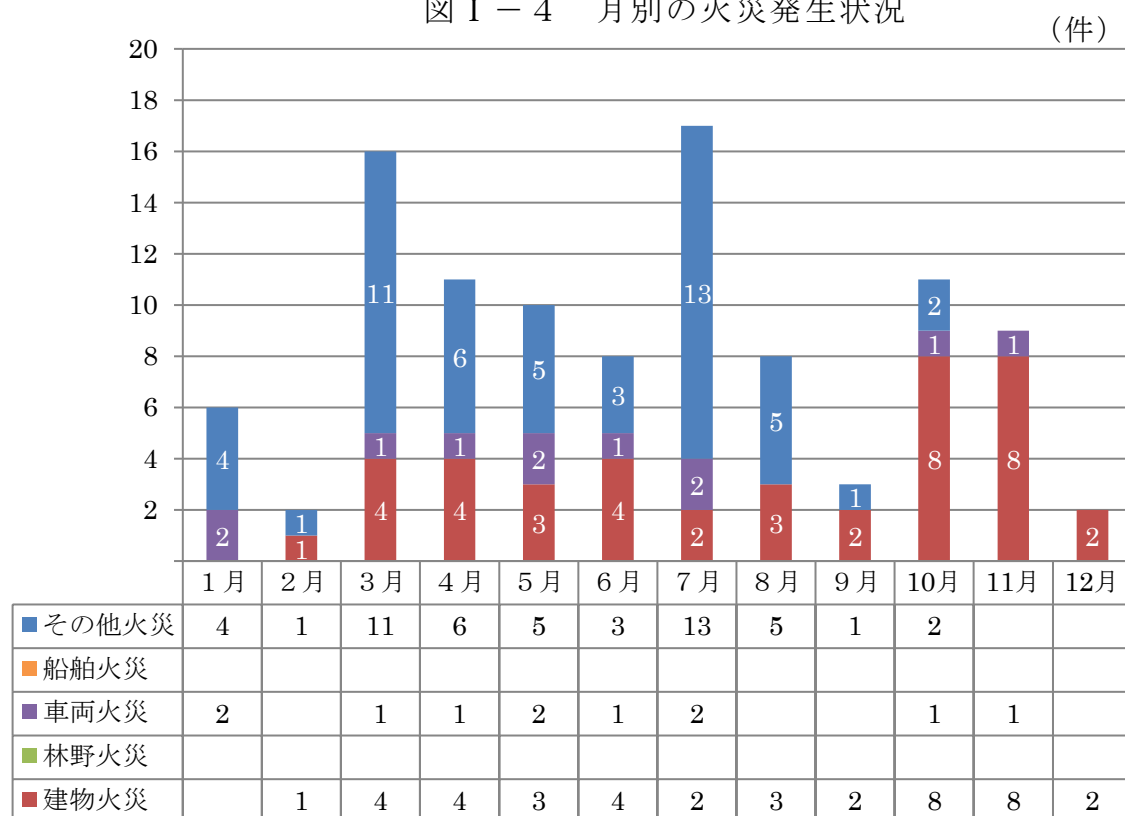


図 I - 4 月別の火災発生状況

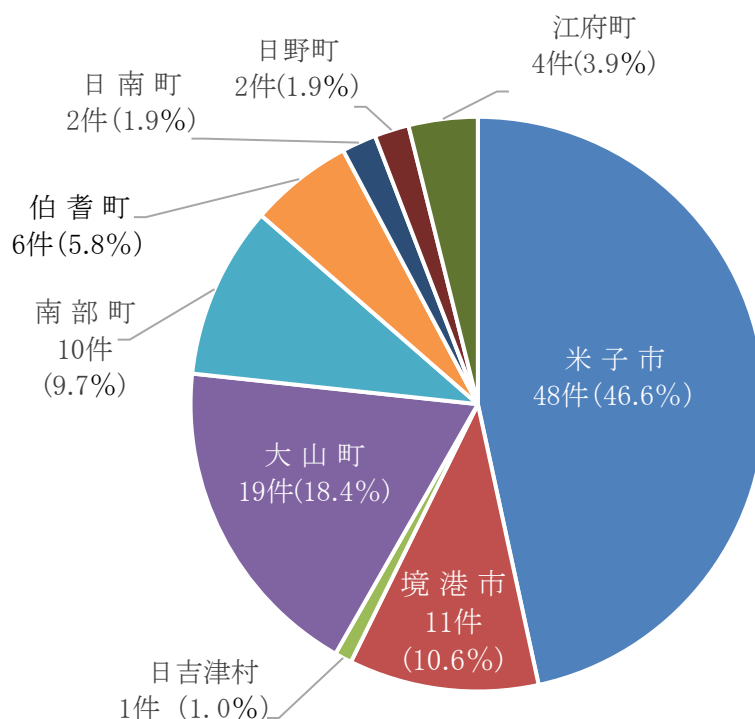


3 市町村別火災状況

令和7年中の火災件数を市町村別でみると、米子市が48件（46.6%）と最も多く、次いで大山町19件（18.4%）、境港市11件（10.6%）、南部町10件（9.7%）となりました。

火災による損害額は、南部町が24億3,523万9千円と最も多く、次いで米子市、大山町となりました。

図 I - 5 市町村別火災件数



別表 I 損害額の状況

市町村名	火災件数						焼損面積			損害額 (千円)
	合計	建物	林野	車両	船舶	その他	床面積 m ²	表面積 m ²	林野 a	
米子市	48	21		6		21	2,141	154		121,222
境港市	11	3				8				15,568
日吉津村	1	1					10			332
大山町	19	8		5		6	2,571	204		59,396
南部町	10	3				7	11,998			2,435,239
伯耆町	6	3				3	126			4,469
日南町	2	1				1	74			1,876
日野町	2	1				1	333			25,841
江府町	4					4				
合計	103	41		11		51	17,253	358		2,663,943

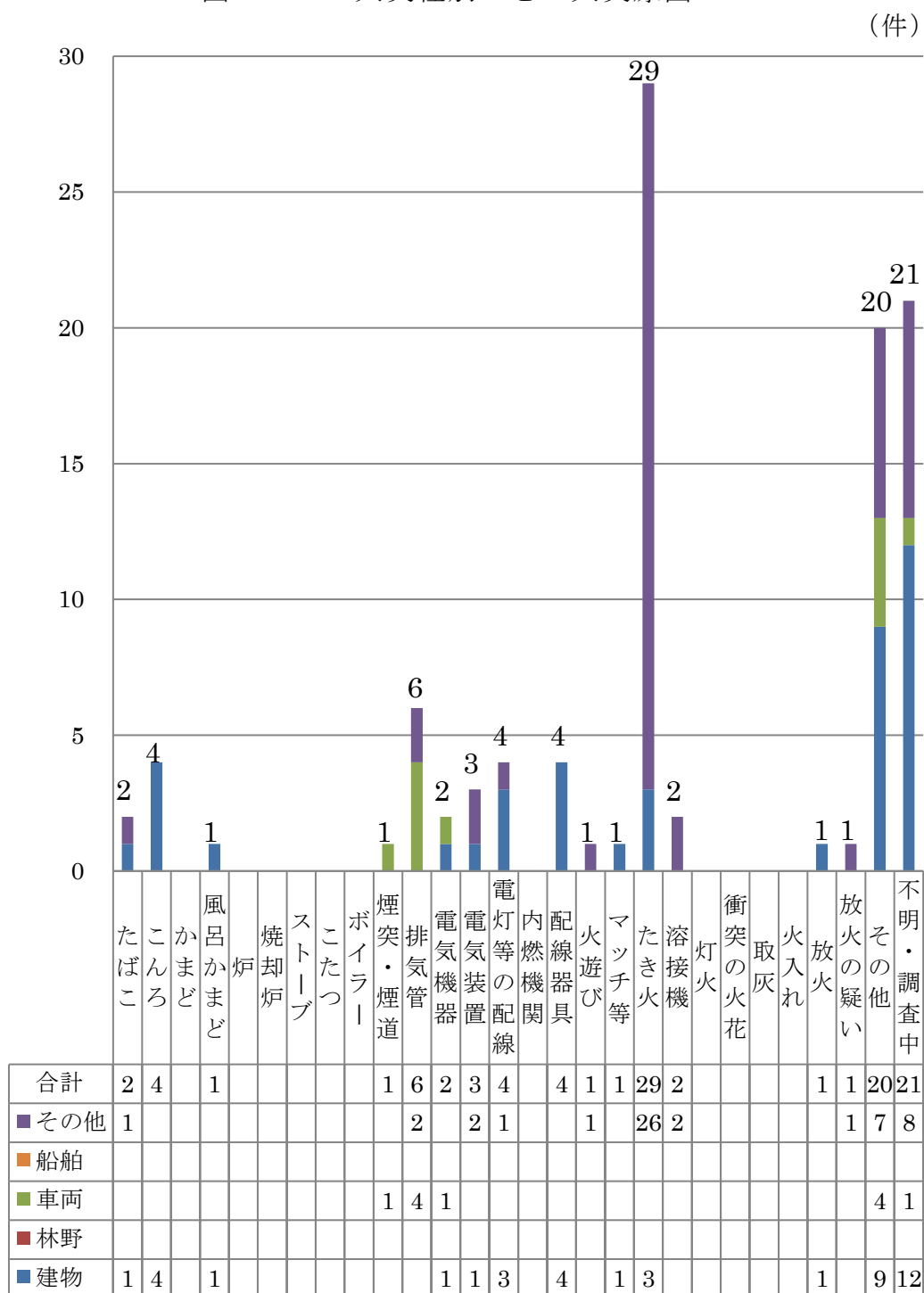
4 出火原因

令和7年中の出火原因をみると「たき火」が29件と最も多く、次いで「不明・調査中」が21件、「その他」が20件、「排気管」が6件、「こんろ」「電灯等の配線」「配線器具」がそれぞれ4件となっています。

前年と比較し「たき火」、「その他」が増加、「たばこ」、「ストーブ」、「放火」による出火原因が減少しました。

「その他」の主なものは、「火のついたゴミ」、「間接雷」によるものなどです。

図 I - 6 火災種別ごとの火災原因



救 急 ・ 救 助

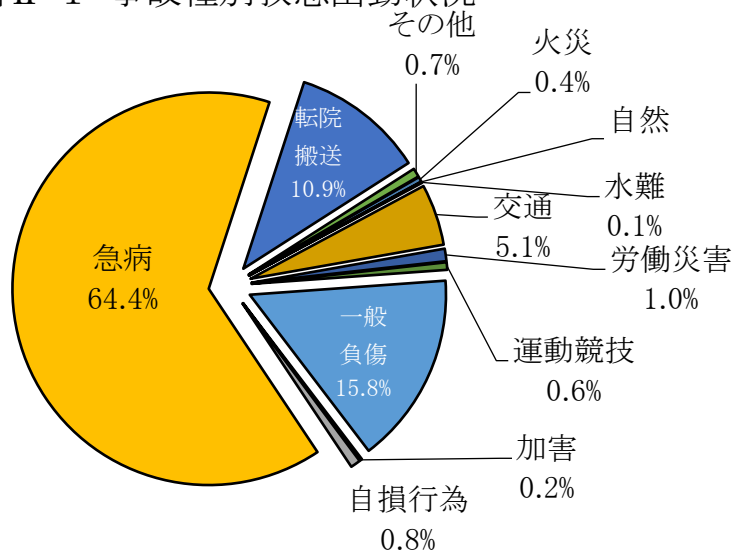


Ⅱ 救急概況

1 救急出動件数、救急搬送状況

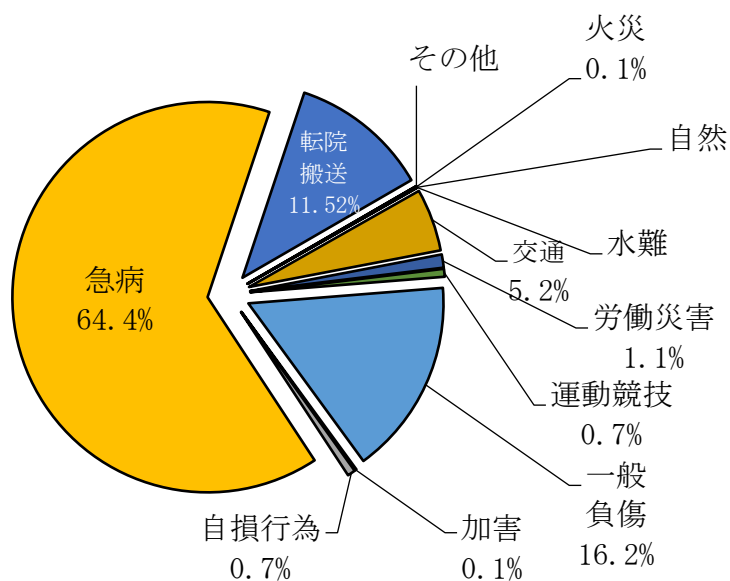
令和7年中の救急出動件数は、前年に比べて517件増の13,751件、搬送人員は567人増の12,906人でした。

図Ⅱ-1 事故種別救急出動状況



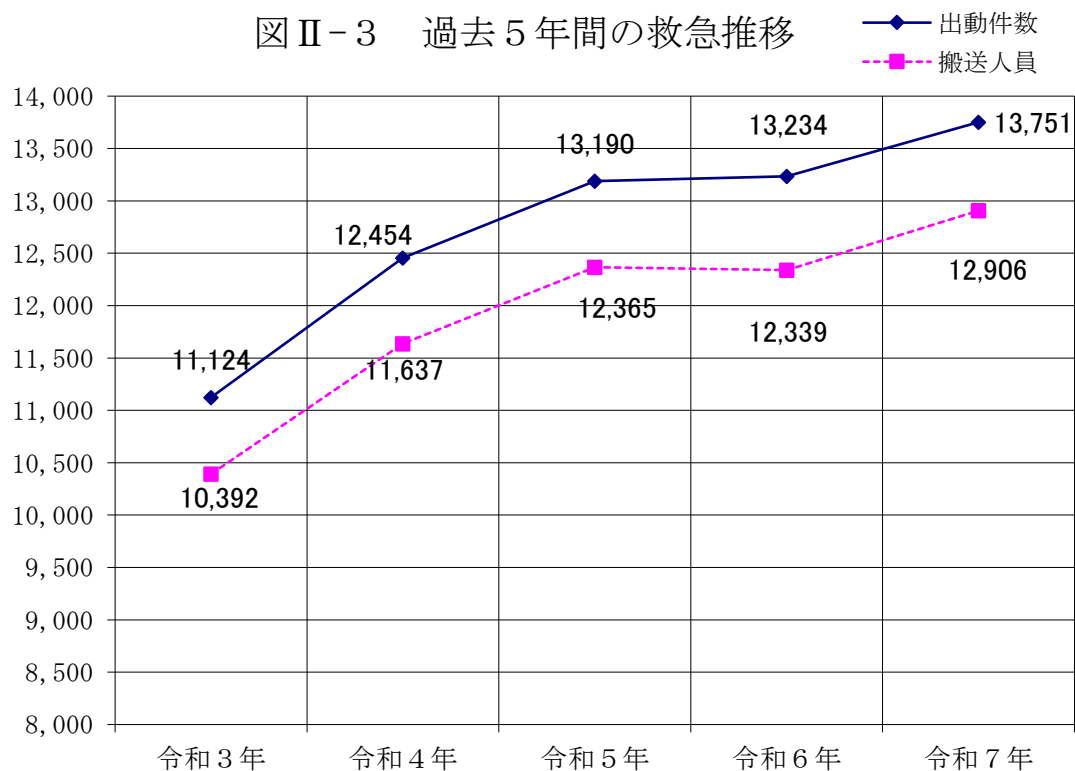
事故種別	火災	自然	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	その他	計
出動件数	56	1	12	694	141	85	2,170	25	113	8,852	1,502	100	13,751

図Ⅱ-2 事故種別救急搬送状況



事故種別	火災	自然	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	その他	計
搬送人員	13	1	4	669	141	84	2,095	18	84	8,309	1,487	1	12,906

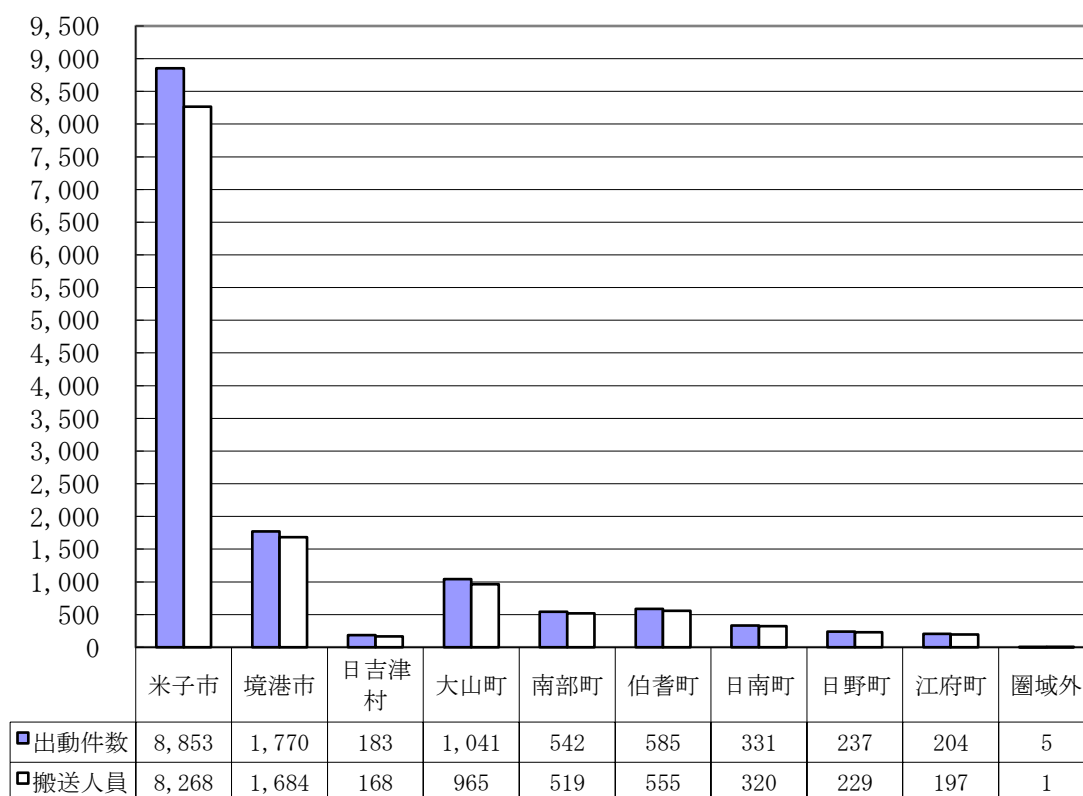
図Ⅱ-3 過去5年間の救急推移



2 市町村別救急活動状況

令和7年中は米子市、大山町、南部町、伯耆町、日南町、日野町で救急件数が増加し、その他の市町村は減少しました。

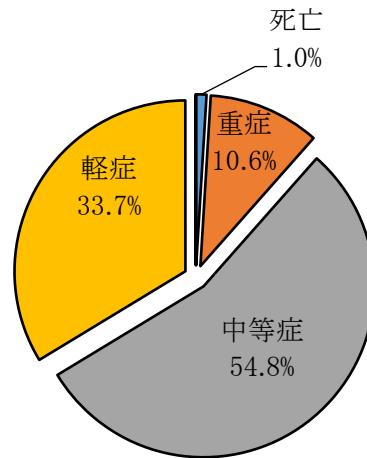
図Ⅱ-4 市町村別救急活動状況



3 傷病程度別搬送状況

傷病程度別の搬送人員では、中等症が7,073人（54.8%）で最も多く、次いで軽症が4,345人（33.7%）、重症が1,362人（10.6%）となっています。

図Ⅱ-5 傷病程度別搬送状況

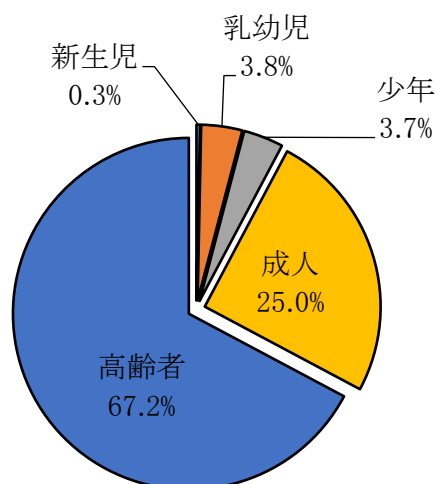


程 度	死亡	重症	中等症	軽症	その他	合 計
搬送人員	125	1,362	7,073	4,345	1	12,906

4 年齢別搬送状況

年齢別の搬送人員では、65歳以上の高齢者が8,675人（67.2%）と最も多くなっています。

図Ⅱ-6 年齢別搬送状況

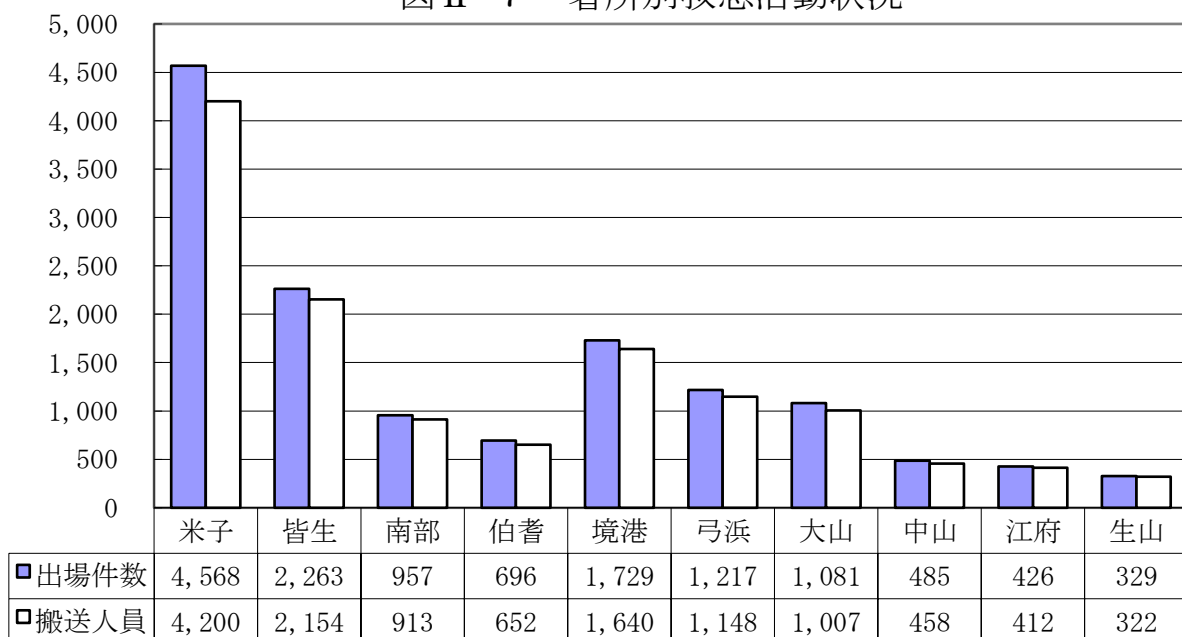


区 分	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合 計
搬送人員	42	487	473	3,229	8,675	12,906

5 署所別救急活動状況

署所別では、米子消防署の出動件数及び搬送人員がそれぞれ 4,568 件 (33.2%)、4,200 人 (32.5%) と最も多くなっています。(図Ⅱ-7 参照)

図Ⅱ-7 署所別救急活動状況

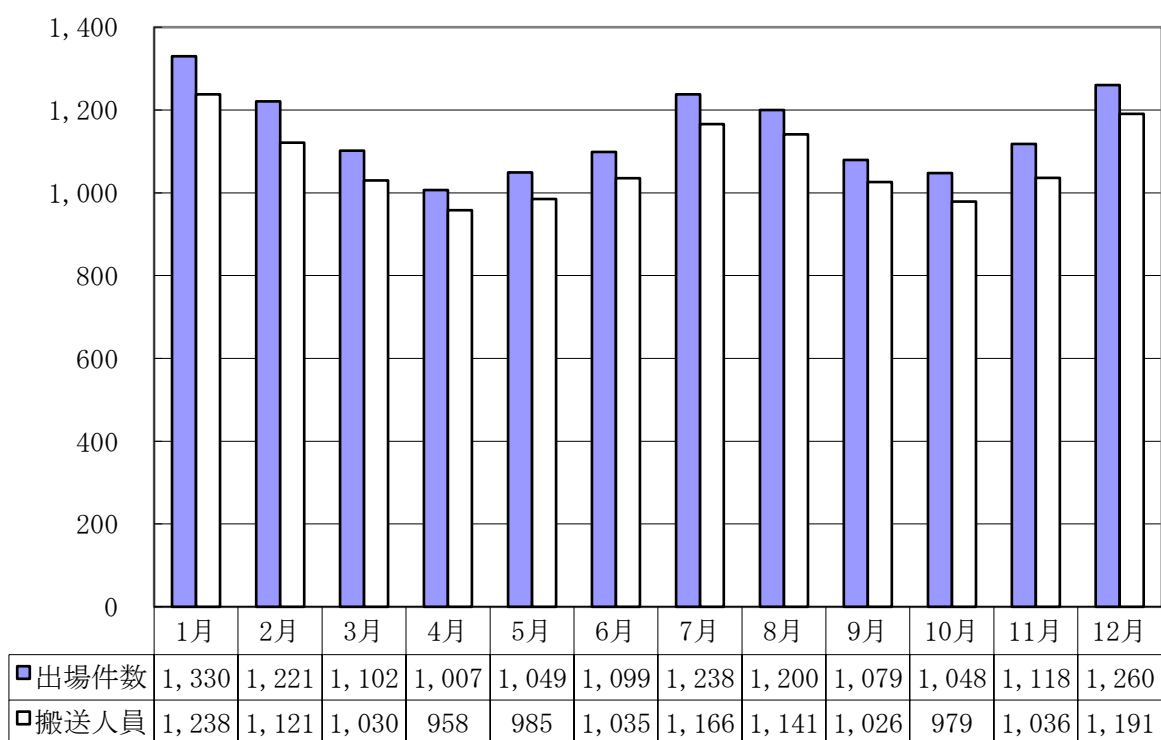


6 月別救急活動状況

月別の最多出動件数は、1 月が 1,330 件 (9.7%)、続いて 12 月の 1,260 件 (9.2%)、7 月 1,238 件 (9.0%) となっています。

搬送人員は、1 月が 1,238 人 (9.6%) で最も多く、続いて 12 月の 1,191 人 (9.2%)、7 月 1,166 人 (9.0%) となっています。(図Ⅱ-8 参照)

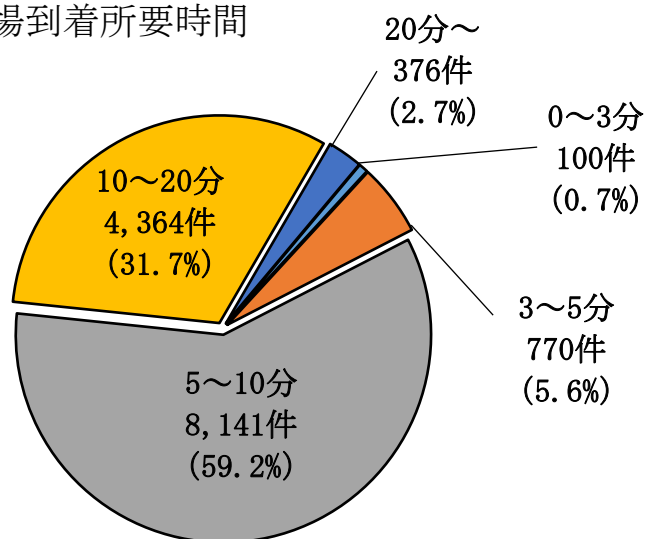
図Ⅱ-8 月別救急活動状況



7 現場到着所要時間、収容所要時間

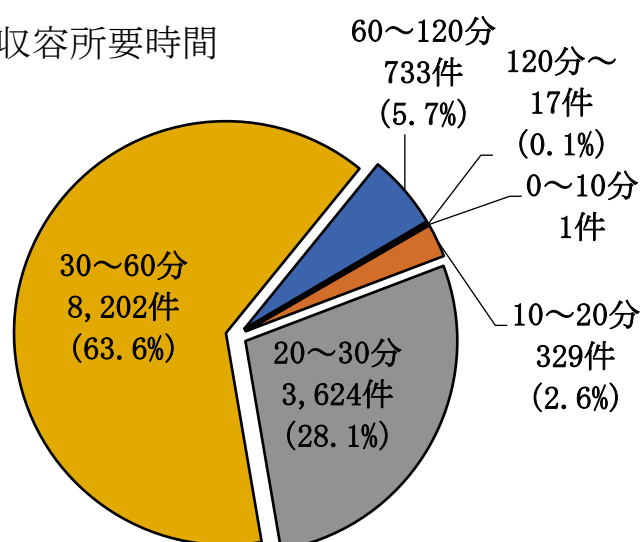
平均現場到着所要時間は9分9秒で昨年より27秒減少し、平均収容所要時間は38分3秒で昨年より15秒減少しました。

図Ⅱ-9 現場到着所要時間



現場到着 所要時間	0～3分	3～5分	5～10分	10～20分	20～	合計
件数	100	770	8,141	4,364	376	13,751

図Ⅱ-10 収容所要時間



現場到着 所要時間	0～10分	10～20分	20～30分	30～60分	60～120分	120分～	合計
件数	1	329	3,624	8,202	733	17	12,906

8 市町村別救急活動の推移

過去５年間の救急件数の推移を見取ることができます。

別表Ⅱ－１ 過去５年間の市町村別救急件数

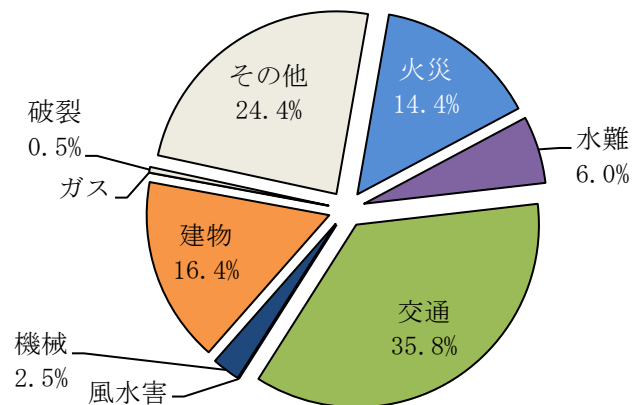
		令和３年	令和４年	令和５年	令和６年	令和７年
米子市	件数	7,008	7,920	8,380	8,404	8,853
	搬送人員	6,529	7,358	7,816	7,784	8,268
境港市	件数	1,476	1,684	1,839	1,859	1,770
	搬送人員	1,391	1,596	1,732	1,772	1,684
日吉津村	件数	152	213	163	194	183
	搬送人員	147	203	156	186	168
大山町	件数	822	894	913	964	1,041
	搬送人員	764	838	863	899	965
南部町	件数	450	480	528	502	542
	搬送人員	414	450	500	465	519
伯耆町	件数	500	526	571	568	585
	搬送人員	463	499	544	539	555
日南町	件数	325	320	344	324	331
	搬送人員	307	301	325	303	320
日野町	件数	160	219	208	208	237
	搬送人員	158	208	194	195	229
江府町	件数	218	186	238	208	204
	搬送人員	206	175	232	195	197
圏域外	件数	13	12	6	3	5
	搬送人員	13	9	3	1	1
合計	件数	11,124	12,454	13,190	13,234	13,751
	搬送人員	10,392	11,637	12,365	12,339	12,906

Ⅲ 救助概況

1 事故種別救助出動状況

令和 7 年中の救助出動件数は 201 件で、交通事故が 72 件（35.8％）で最も多く、次いでその他の事故が 49 件（24.4％）、建物等による事故 33 件（16.4％）の順となっています。

図Ⅲ－1 事故種別救助出動状況

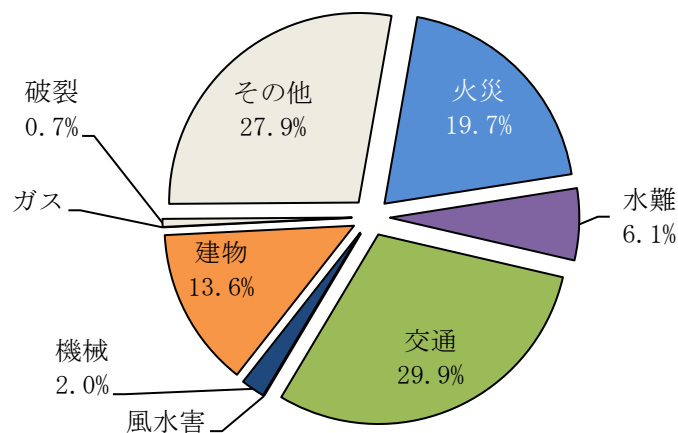


事故種別	火災	水難	交通	風水害	機械	建物	ガス	破裂	その他	計
出動件数	29	12	72	0	5	33	0	1	49	201

2 事故種別救助活動状況

救助活動件数は 147 件で、交通事故が 44 件（29.9％）で最も多く、次いでその他の事故が 41 件（27.9％）、火災が 29 件（19.7％）の順となっています。

図Ⅲ－2 事故種別救助活動状況

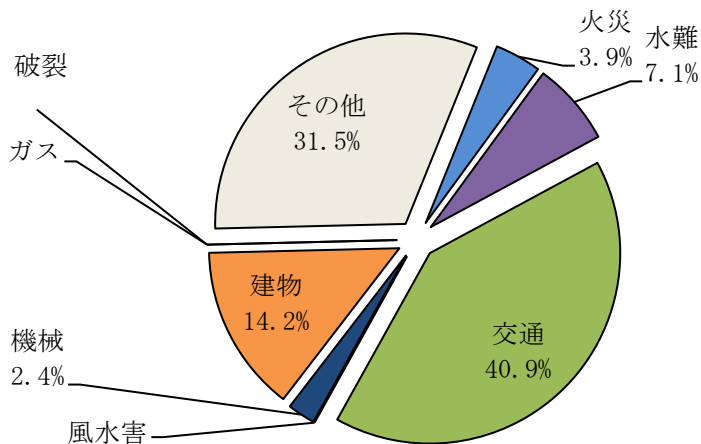


事故種別	火災	水難	交通	風水害	機械	建物	ガス	破裂	その他	計
活動件数	29	9	44	0	3	20	0	1	41	147

3 事故種別救助人員状況

令和7年中に救助活動により救助された人員は127人で、交通事故が52人（40.9%）と最も多く、次いでその他の事故が40人（31.5%）、建物等による事故が18人（14.2%）、水難事故が9人（7.1%）の順となっています。

図Ⅲ-3 事故種別救助人員状況

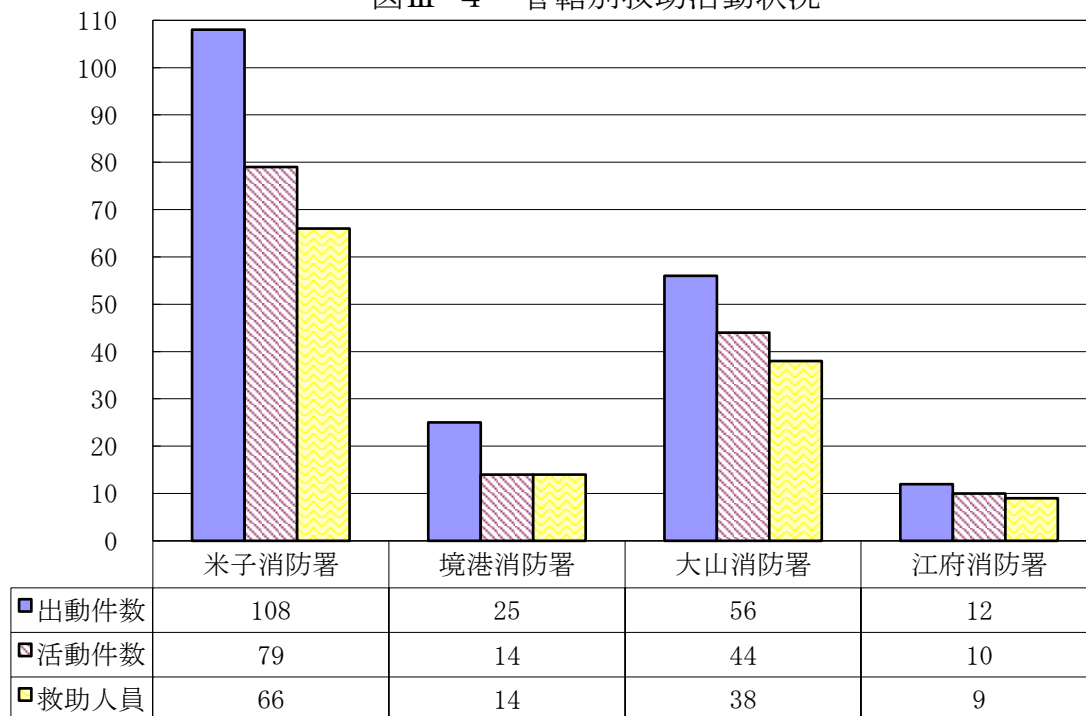


事故種別	火災	水難	交通	風水害	機械	建物	ガス	破裂	その他	計
救助人員	5	9	52	0	3	18	0	0	40	127

4 管轄別救助活動状況

令和7年中の管轄別出動件数は、米子消防署が108件（53.7%）と最も多く、次いで大山消防署が56件（27.9%）、境港消防署が25件（12.4%）、江府消防署12件（6.0%）の順となっています。

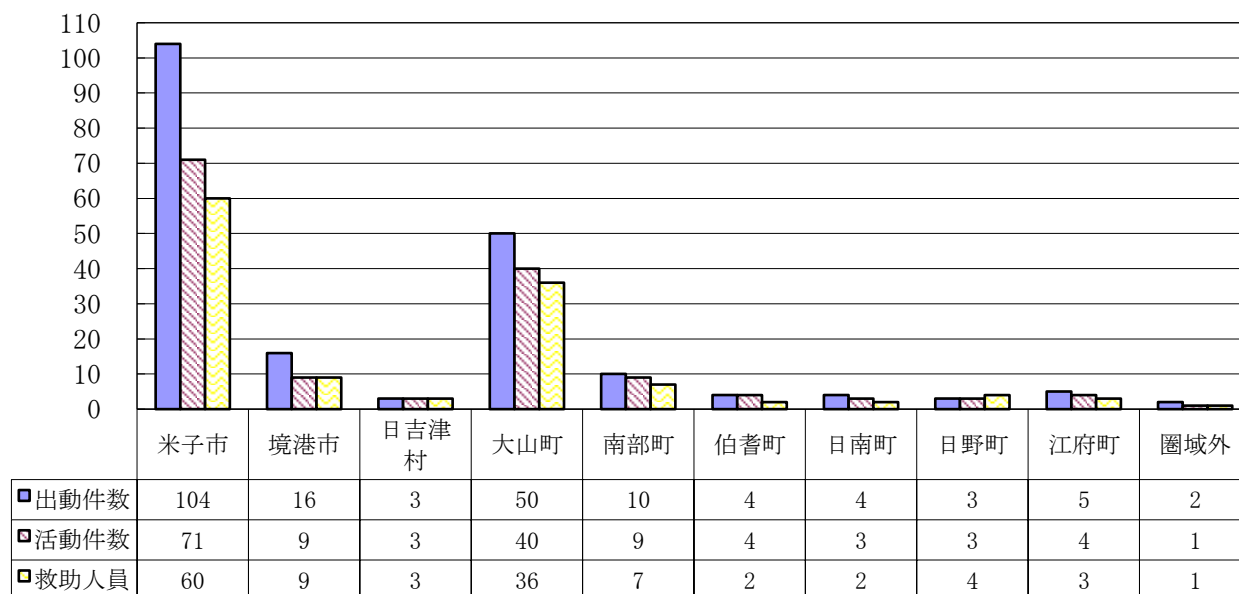
図Ⅲ-4 管轄別救助活動状況



5 市町村別救助活動状況

令和7年中の市町村別出動件数は、米子市が104件（51.7%）と最も多く、次いで大山町が50件（24.9%）、境港市が16件（8.0%）の順となっています。

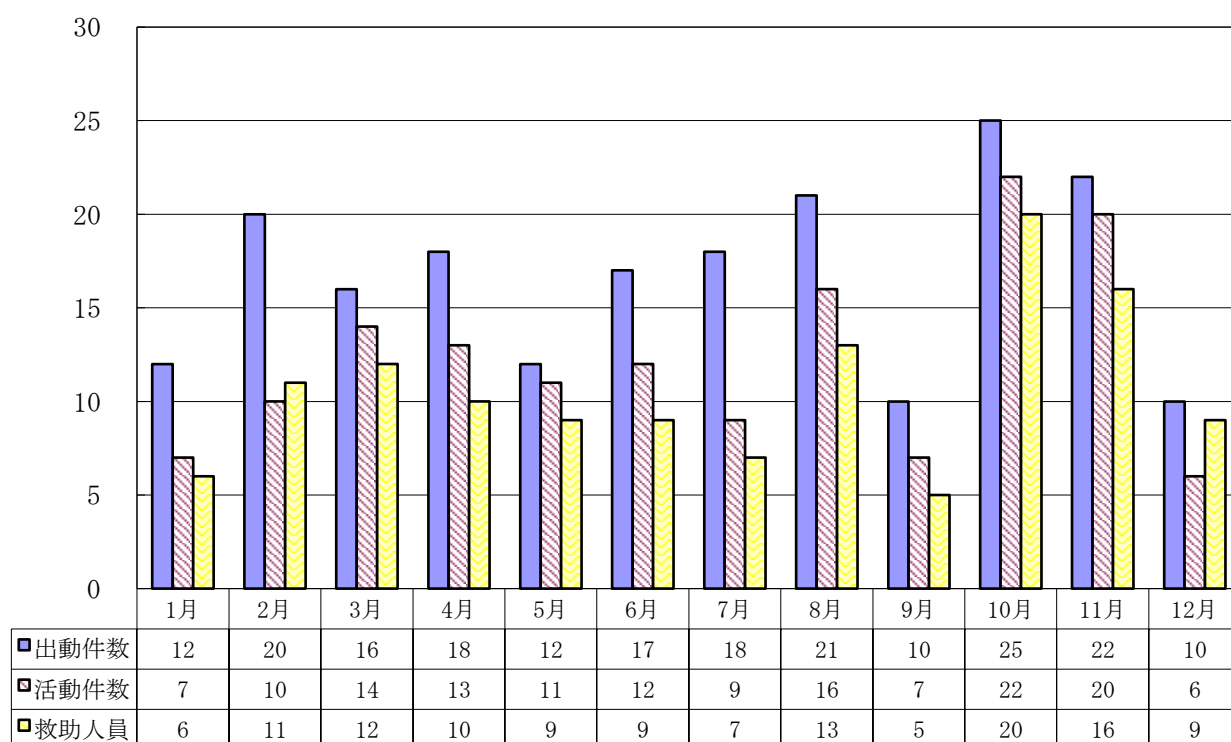
図Ⅲ-5 市町村別救助活動状況



6 月別救助活動状況

月別救助出動件数は、10月が25件（12.4%）と最も多く、次いで11月が22件（10.9%）、8月が21件（10.4%）の順となっています。

図Ⅲ-6 月別救助活動状況



119番着信概況

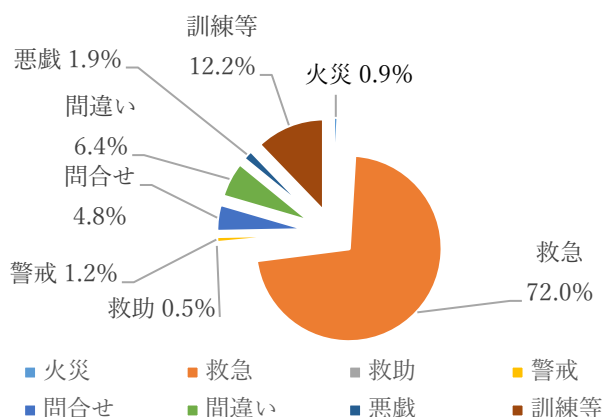


Ⅳ 119番通報着信概況

1 119番通報の着信数の内訳

令和7年中の総着信数は18,105件で、前年に比べ541件増加となりました。着信種別の内訳は、救急が13,041件で最も多く、次いで、警戒216件、火災170件、救助97件となっており、これらの緊急を要する着信は、総着信数の74.7%を占めています。また、訓練等を除く「問合せ、間違い及び悪戯（いたずら）」といった緊急を要さない着信は2,371件で、総着信数の13.1%となっています。

表Ⅳ－1 着信件数内訳【%】



緊急着信 [13,524]				非緊急着信 [2,371]			訓練等	総着信件数
火 災	救 急	救 助	警 戒	問合せ	間違い	悪 戯		
170	13,041	97	216	872	1,154	345	2,210	18,105

2 月別 119番通報の着信件数の内訳

令和7年中の月平均着信数は、約1,509件で、1日あたり約49件の119番通報を着信しています。

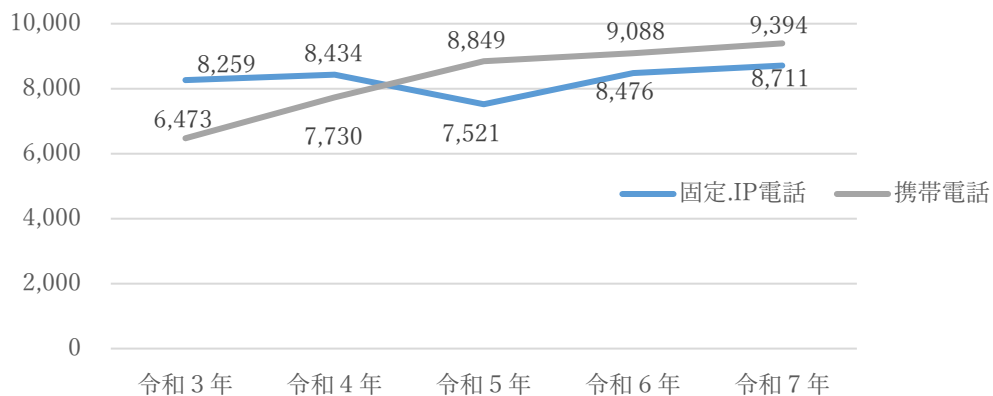
表Ⅳ－2 月別119番通報着信状況【件】

月 別	火 災	救 急	救 助	警戒等	問合せ	間違い	悪 戯	訓練等	合 計
1 月	10	1,265	9	12	83	95	10	130	1,614
2 月	3	1,151	13	12	78	95	83	137	1,572
3 月	24	1,053	8	14	81	106	86	224	1,596
4 月	11	952	10	10	54	86	58	154	1,335
5 月	18	991	5	13	69	95	34	170	1,395
6 月	30	1,049	3	13	78	93	17	223	1,506
7 月	19	1,184	7	22	58	93	7	166	1,556
8 月	15	1,118	7	35	78	98	7	130	1,488
9 月	3	1,025	4	19	58	99	10	179	1,397
10月	17	984	13	17	63	108	18	225	1,445
11月	17	1,075	8	21	66	85	2	303	1,577
12月	3	1,194	10	28	106	101	13	169	1,624
月平均	14	1,087	8	18	73	96	29	184	1,509
合 計	170	13,041	97	216	872	1,154	345	2,210	18,105

3 電話種別による 119 番通報の着信状況

令和 7 年中の「電話種別による 119 番通報着信数の推移」をみると、固定・IP 電話の着信数は、8,711 件で、前年と比べ 235 件増加し、過去 5 年間で最も多く着信しています。また、携帯電話による着信数は、9,394 件で令和 3 年から右肩上がりに増加しています。なお、携帯電話による着信数が令和 3 年から急増していることに比べ固定・IP 電話の着信件数は、ほぼ横ばいとなっています。

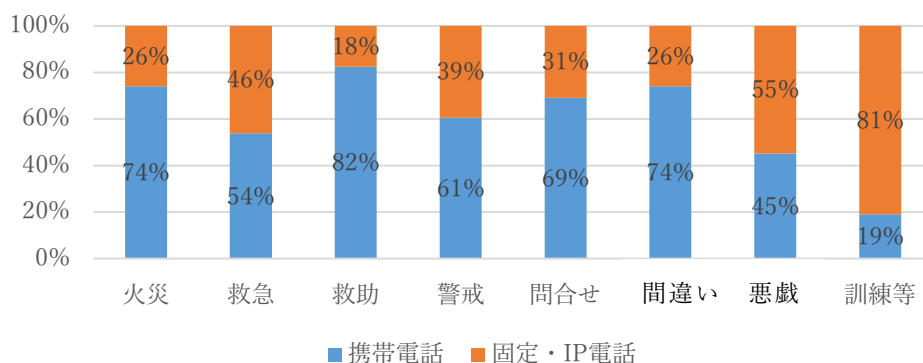
表Ⅳ－3 電話種別による119番通報着信数の推移【件】



項 目	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
固定・IP 電話	8,259	8,434	7,521	8,476	8,711
携帯電話	6,473	7,730	8,849	9,088	9,394
合 計 【件】	14,732	16,164	16,370	17,564	18,105

令和 7 年中の「電話種別による着信状況」をみると、訓練等を除いた電話種別は、携帯電話による着信が半数を超える状況となっています。

表Ⅳ－4 電話種別による着信



【件】

項 目	火 災	救 急	救 助	警 戒	問合せ	間違い	悪戯	訓練等	合 計
固定・IP 電話	44	6,019	17	85	269	300	189	1,788	8,711
携帯電話	126	7,022	80	131	603	854	156	422	9,394
合 計	170	13,041	97	216	872	1,154	345	2,210	18,105

4 119 番通報の転送状況の内訳

西部消防局で着信した 119 番通報を、緊急出動を必要とする管轄の消防機関に転送発信した件数は 108 件となります。また、西部消防局が管轄している地域で発生した事案で、他の消防機関から転送着信した件数は 84 件となっています。

表Ⅳ－５ 携帯電話からの着信状況【件】

西部消防局管轄内で発生した事案の着信件数			他の消防機関へ 転送発信数
管轄内事案で携帯電話 による着信数	他の消防機関から 転送着信数	携帯電話 着信数	
9,310	84	9,394	108

表Ⅳ－６ 携帯電話の消防機関別転送状況【件】

他の消防機関から転送着信した件数					他の消防機関に転送発信した件数				
	火災	救急	その他	合計		火災	救急	その他	合計
松 江		9	2	11	松 江	4	26	3	33
安 来		48	2	50	安 来	1	24	1	26
雲 南		2		2	雲 南		1		1
東 部		5	1	6	東 部	5	7	1	13
中 部		5		5	中 部	5	10		15
(その他) 遠隔地通報		9	1	10	(その他) 遠隔地通報	1	18	1	20
合 計	0	78	6	84	合 計	16	86	6	108

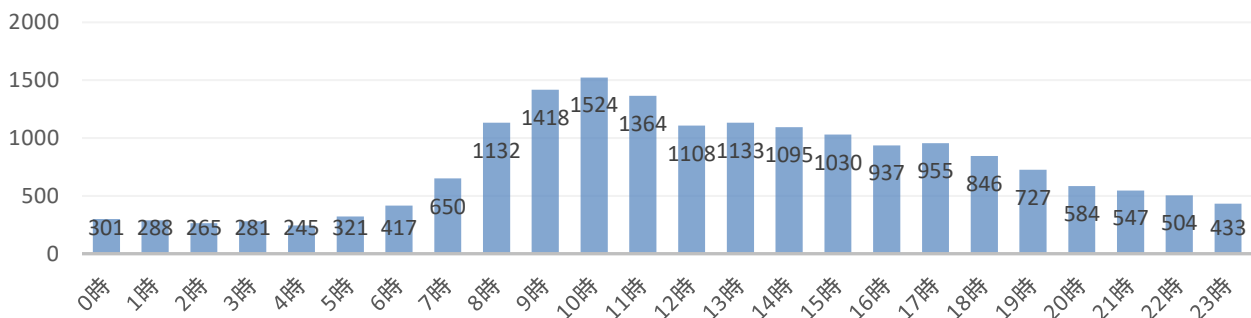
(※ 遠隔地通報とは、隣接しない他の消防機関から転送着信または転送発信することをいう。)

5 時間帯別 119 番通報の着信状況

令和 7 年中の「時間帯別 119 番通報着信状況」を見ると、最も多かった時間帯は 10 時台となりました。反対に最も少なかった時間帯は 4 時台となりました。

表Ⅳ－７ 時間帯別 119 番通報着信状況【件】

時間帯別



【総着信数 18,105 件】

消防団・水利



消防団の人員と装備

令和8年4月1日現在

人 員 市町村別		人 員								消 防 車 両 等				
		定員	実員	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	消防ポンプ自動車	小ポンプ型積載力車	小ポン型動力車	手ポン引動力車
合 計		1,405	1,179	9	19	71	72	71	193	743	51	22	24	0
米 子 市		544	463	1	4	28	28	52	106	244	15	8	9	0
境 港 市		116	90	1	2	6	6	9	13	53	6	0	0	0
西 伯 郡	日 吉 津 村	35	29	1	2	1	1	0	3	21	2	0	0	0
	大 山 町	171	145	1	3	10	10	10	21	90	9	2	0	0
	南 部 町	148	118	1	2	7	7	0	15	86	5	3	0	0
	伯 耆 町	163	139	1	2	7	7	0	14	108	4	4	4	0
日 野 郡	日 南 町	104	94	1	2	7	7	0	7	70	5	2	5	0
	日 野 町	64	54	1	1	2	3	0	5	41	3	2	5	0
	江 府 町	60	47	1	1	3	3	0	9	30	2	1	1	2

水 利 状 況

令和8年4月1日現在

区 分 市町村別		水 利				
		基 準 数	現 有 数			
			公 設 消 火 栓 (150mm 以上)	公 設 水 槽 (40t 以 上)	そ の 他	計
合 計		3,782	1,417	862	2,886	5,165
米 子 市		1,354	1,071	158	499	1,728
境 港 市		676	288	55	56	399
西 伯 郡	日 吉 津 村	55	58	0	21	79
	大 山 町	389	0	235	498	733
	南 部 町	157	0	145	254	399
	伯 耆 町	57	0	117	432	549
日 野 郡	日 南 町	508	0	52	732	784
	日 野 町	218	0	37	232	269
	江 府 町	368	0	63	162	225

関 係 団 体



令和7年度 事業報告書

1. 研修会の部

- (1) 新入社員防災研修会（米子地区防火安全協会共催）

令和7年6月5日（木）・6日（金）西部消防局において開催 90名参加

- (2) 消火競技会（境港市消防保安協会主催）

令和7年10月16日（木）境港消防署において開催 3 事業所4チーム参加

- (3) 危険物事故防止講習会（香川）

令和7年11月19日（水） 事務局より1名参加

- (4) 実務研修会

令和8年3月2日（月）
鳥取県西部広域行政管理組合消防局において開催 60名参加

2. 講習会の部

- (1) 第1回危険物取扱者試験準備講習会

令和7年5月20日（火）～21日（水）

【乙種第4類】 19名参加
(15名)

合格率 46.7%
(県平均 30.5%)

【丙 種】 3名参加
(3名)

合格率 66.7%
(県平均 64.8%)

- (2) 第2回危険物取扱者試験準備講習会

令和7年9月18日（木）～19日（金）

【乙種第4類】 30名参加
(25名)

合格率 46.2%
(県平均 29.5%)

【丙 種】 2名参加
(2名)

合格率 100%
(県平均 81.8%)

- (3) 第3回危険物取扱者試験準備講習会

令和8年2月19日（木）～20日（金）

【乙種第4類】 25名参加
(22名)

合格率 42.9%
(県平均 32.8%)

※（ ）内は、米子地区防火安全協会からの参加者数

3. 幹旋事業の部

(1) 標識・掲示板の幹旋

(2) 防火管理者講習会等の図書幹旋

【防 災 管 理 新規講習】

令和7年10月 9日 (木)

12冊

【防火・防災管理 再講習】

令和7年 6月17日 (火)

3冊

4. 会報発刊の部

会報 (第28号) 8月 発刊

会報 (第29号) 3月 発刊

5. 委託事業の部

防火管理講習委託

【甲種防火管理 新規講習】

第1回 令和7年 5月13日 (火) ～ 14日 (水)

52名

第2回 令和7年 9月10日 (水) ～ 11日 (木)

60名

第3回 令和7年11月18日 (火) ～ 19日 (水)

77名

【甲乙同時防火管理 新規講習】

令和8年 3月11日 (水) ～ 12日 (木)

49名

【甲種防火管理 再講習】

令和7年12月10日 (水)

13名

6. 防火協力の部

(1) 住宅用火災警報器の普及活動協力

(2) 消防行事に協賛

(3) 図書の寄贈

(4) 防火DVD及び子供用防火衣等の貸し出し

(5) 表彰記念品の購入

(6) その他 「YONAGO デジタル健康・防災フェスタ 2025」の後援

7. 会議の部

定期総会、役員会 令和7年6月19日 (木)

新年役員会 令和8年1月19日 (月)

8. 危険物保安協会関係の部（国・県）

(1) 令和7年度全国危険物安全協会 危険物安全大会

令和7年6月9日（月） ニッショーホールにて開催

【全国危険物安全協会理事長表彰・個人表彰】

井上 賢明 （株式会社 ジョモネット山陰）

(2) 鳥取県危険物保安協会連合会理事会及び安全大会

令和7年6月13日（金） ホテルセントパレス倉吉において開催

【県知事・危険物優良事業所表彰】

株式会社 大森石油店

【県知事・危険物優良取扱者表彰】

岡田 哲憲（三島産業有限会社）

【県危連・危険物保安功労者表彰】

城内 正行（寿製菓株式会社）

【県危連・危険物優良事業所表彰】

日ノ丸自動車株式会社 米子支店

9. 表彰の部

会長表彰

【功労者表彰】

内田 雄一郎（株式会社 ホテルハーベストイン米子）

【危険物優良事業所表彰】

株式会社 ENEOS ウイング 米子インターTS

【優良事業所表彰】

株式会社 ホテルわこう

【危険物優良取扱者表彰】

宮下 孝志（米子製鋼株式会社）

10. その他

鳥取県危険物取扱者保安講習

令和7年9月4日（木）・5日（金）

米子コンベンションセンターにおいて開催

事務担当者1名派遣

1 会報の発行

会報第67号発行

2 研修用ビデオ貸し出し

会員事業所へ防火・防災ビデオの貸し出し

3 住宅用火災警報器維持対策広報

経年劣化した住宅用火災警報器の交換の促進

4 消火競技会の開催

10月16日(木): 第46回事業所対抗消火競技会

5 講習会の開催 危険物取扱者試験準備講習会

5月、9月、2月に米子地区防火安全協会と合同実施

6 会議関係

(1) 境港市消防保安協会関係

役員会 4月25日(金)

定期総会 5月22日(木)

(2) 鳥取県危険物保安協会連合会関係

事務局会議 5月16日(金)(中部ふるさと広域連合消防局)

理事会及び危険物安全大会 6月13日(金)(倉吉市: ホテルセントパレス倉吉)

7 表彰関係

(1) 境港市消防保安協会 会長表彰

功労者表彰: 岡田 輝昭 様(株式会社岡田商店)

危険物優良事業所表彰: 里道油店

危険物優良取扱者表彰: 佐々木 秀一 様(フジッコ株式会社 境港工場)

優良事業所表彰: 社会福祉法人 境港福祉会

(2) 鳥取県危険物保安協会連合会 会長表彰

危険物優良事業所表彰: イワタニ山陰株式会社 米子支店

(3) 鳥取県知事表彰

危険物保安功労者表彰: 三輪 陽通 様(三光ホールディングス株式会社)

8 その他

(1) 境港市消防団ポンプ操法大会(6月1日(日))

(2) 各種講習会・試験実施案内

令和7年版 消防年報

令和8年7月 発行

編集・発行 鳥取県西部広域行政管理組合消防局

〒683-0853鳥取県米子市両三柳5452番地

TEL (0 8 5 9) 3 5 - 1 9 5 1

FAX (0 8 5 9) 3 5 - 1 9 6 1

